

## 会 告 目 次

学会事務局（本部）の移転について	2
研究発表会開催通知	
第 43 回 数値解析研究会	3
第 41 回 情報システム研究会	4
第 88 回 計算機アーキテクチャ研究会	4
第 64 回 設計自動化研究会	4
第 59 回 グラフィクスと CAD 研究会	5
第 9 回 プログラミング—言語・基礎・実践—研究会	5
新入会員勧誘のお願い	7
情報処理学会第 45 回 全国大会（平成 4 年後期）参加について	8
奨励賞候補の推薦について	9
第 45 回 全国大会「チュートリアル・セッション」開催について	10
本会協賛等の行事案内	10
情報処理学会第 46 回 実施要領	12
有料会告について	16
「グラフィクスと CAD シンポジウム」開催について	19
「メディアと情報処理」シンポジウム開催について	22
「第 4 回 コンピュータシステムシンポジウム」開催について	24
CALL FOR PAPERS 1993 年並列処理シンポジウム	27
情報処理振興事業協会（IPA）技術センター第 11 回 技術発表会のご案内	28
3RD INTERNATIONAL CONFERENCE FOR YOUNG COMPUTER SCIENTISTS	29
支部だより	30
会 議 案 内	32
教 官 募 集	33
雑 報	35
編 集 室	35

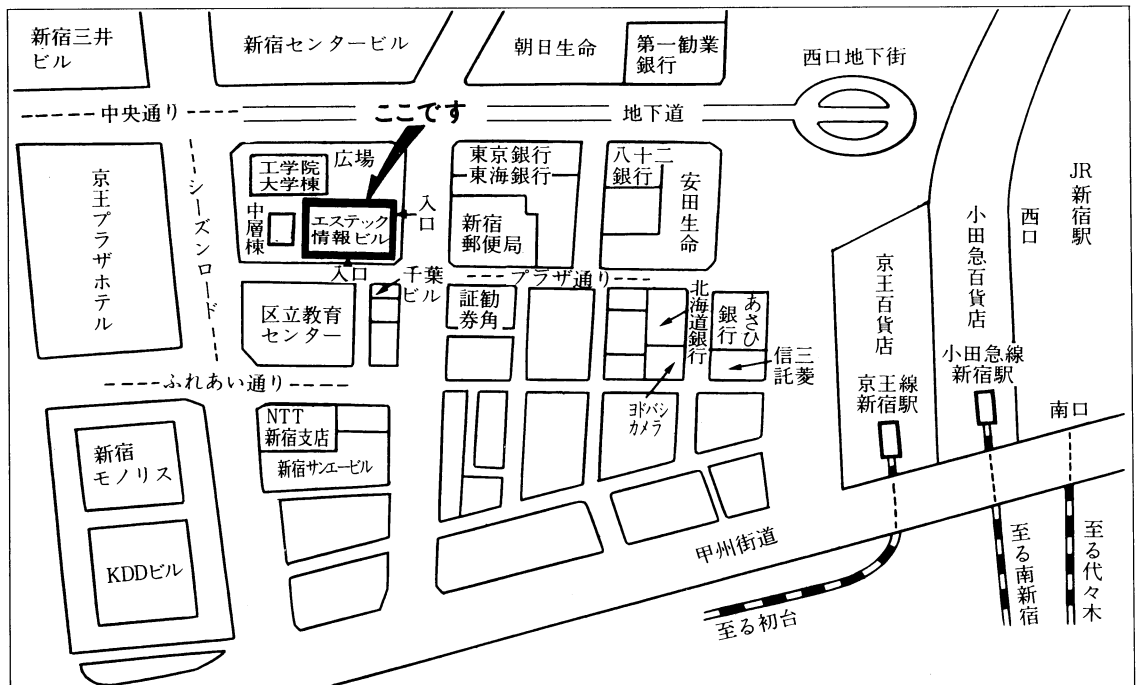
## 学会事務局（本部）の移転について

会員の皆さま方の学会活動への深いご理解とご支援を得て、当学会も会員数が32,000名を超え、大学会へと発展してきました。この度、これに対応できる環境条件を整えるため、会員の皆さまにも便利な新宿副都心のエステック情報ビルへ事務局本部（会員、編集、事業、研究会、国際、総務）を下記により移転することになりましたのでご案内申し上げます。

なお、情報規格調査会（規格部）は現状どおり機械振興会館にて業務を行っております。

### 記

1. 移 転 先 160 東京都新宿区西新宿一丁目24番1号 エステック情報ビル 27階  
TEL 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534
2. 業務開始日 平成4年10月5日(月) なお、10月2日(金)までは現住所（港区麻布台）で平常どおり業務を行っております。
3. 交 通 JR新宿駅西口から徒歩5分（地図参照）
4. 郵便・銀行 郵便振替口座 東京5-83484  
銀行振込（いずれも普通預金口座）  
第一勧業銀行新宿西口支店 2049562  
三菱銀行虎ノ門公務部 0000608  
名義人 社団法人 情報処理学会



会 社

# 研究発表会開催通知

(平成4年9月15日～10月30日)

研究会	日 時		会 場	備 考
コンピュータビジョン	9月17日(木)	10:00～16:40	山 梨 大	前号参照
自然言語処理	9月17日(木)	13:00～15:50	横 浜 国 大	同 上
	9月18日(金)	10:00～15:00		
記 号 処 理	9月22日(火)	10:20～17:00	九 工 大	同 上
マルチメディア通信と分散処理	9月24日(木)	9:30～17:00	機 械 振 興 会 館	同 上
	9月25日(金)	9:30～17:00		
コンピュータと教育	9月25日(金)	9:30～13:40	徳 島 大	同 上
アルゴリズム	9月25日(金)	9:30～15:00	福 井 大	同 上
ソフトウェア工学	9月29日(火)	10:30～17:00	早 大	同 上
数 値 解 析	10月15日(木)	10:00～14:40	徳 島 大	下記参照
情 報 シ ス テ ム	10月20日(火)	13:00～17:00	機 械 振 興 会 館	同 上
計算機アーキテクチャ	10月22日(木)	10:00～17:00	九 大	同 上
	10月23日(金)	10:00～17:00		
設 計 自 動 化	10月22日(木)	未 定	東 北 大	同 上
	10月23日(金)			
グラフィクスとCAD	10月23日(金)	13:10～16:40	東 京 電 機 大	同 上
プログラミング —言語・基礎・実践—	10月30日(金)	9:30～17:00	機 械 振 興 会 館	同 上

## ◆ 第43回 数値解析研究会

(発表件数：4件)

(主査：福井義成，幹事：土谷 隆，長嶋雲兵，吉原都夫)

日 時 平成4年10月15日(木) 10:00～14:40

会 場 徳島大学 工学部 A31 教室

(徳島市南常三島町 2-1, JR: 徳島下車, 徳島バス(乗り場 1, 3): 徳大前下車, または市営バス(乗り場 5, 6, 7): 助任橋(約10分)下車, 徳島空港よりは市営バスにて徳大前下車(約20分). Tel. 0886 (23) 2311)

議 題

—10:00～11:40—

(1) LU 分解のブロック化と計算順序

寒川 光 (日本 IBM)

(概要) 計算量とデータ移動量を考慮した, LU 分解アルゴリズムの変形を考察する.

(2) Balanced convergence of iterative methods to a multiple zero of a complex polynomial

都田艶子 (阪大)

(概要) デュラン・カーナ法による代数方程式の近似解の列が, 重複解の近傍で示す性質の数理を論述する.

—13:00～14:40—

(3) 粒子法による非圧縮性粘性流れの数値解析

梅垣菊男, 高橋 俊, 三木一克 (日立)

(概要) 非圧縮性粘性流体を対象とした粒子法を開発. 界面不安定性, 大変形移動境界問題を解析する.

(4) 7点差分用反復行列解法における前処理法の効果

吉田有一郎, 岡田 悟, 川田 猛 (東芝 CAE システムズ), 吉田浩俊 (東芝)

(概要) 3次元移流拡散問題を差分法で離散化した行列を反復法で解く場合の, 前処理法の効果を検討する.

◆ 第41回 情報システム研究会

(発表件数：5件)

(主査：上野 滋，幹事：高橋富夫，槻木公一，初瀬川茂)

日時 平成4年10月20日(火) 13:00~17:00

会場 機械振興会館 地下3階 2号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄：日比谷線神谷町，浅草線大門，三田線御成門下車，または JR：浜松町下車  
バス：渋谷ー東京タワー線東京タワー，渋谷ー東京駅八重洲口線虎の門5丁目下車，Tel. 03 (3434) 8211〕

議題 特集：組織と電子メール

(1) 大学医療情報ネットワーク (UMIN) における電子メールと電子掲示板の利用

桜井恒太郎，大江和彦，長瀬淑子，開原成允 (東大病院)

〔概要〕 全国の大学病院の業務用計算機をオンラインで接続した UMIN 上での電子メール，電子掲示板の現状。

(2) 日本 DEC における電子メールシステムについて

伊藤昭博 (日本 DEC)

〔概要〕 統合オフィスツール ALL-IN-1 における電子メールの役割と効果について。

(3) 電子のメディア “NIFTY-Serve”

中村 明 (ニフティ)

〔概要〕 ネットワーク通信の概要と考察。新しい電子のメディアを通じての情報の流通と保管の研究。

(4) 電子メールの社内事例紹介

山田裕子 (日本 IBM)

〔概要〕 日本アイ・ビー・エムの社内での電子メールの普及度，使用状況などの事例を説明する。

(5) ネットワーク型情報システムの普及と利用基盤との関連性

内木哲也 (東洋大)

〔概要〕 システムの利用者集団のスキル・利用環境を含めた利用基盤に着目し，事例の分析，考察を行う。

◆ 第88回 計算機アーキテクチャ研究会

(予定発表件数：5件)

(主査：富田眞治，幹事：後藤厚宏，村上和彰，矢野陽一)

日時 平成4年10月22日(木) 10:00~17:00

23日(金) 10:00~17:00

会場 九州大学 (筑紫キャンパス) 大学院総合理工学研究科 情報システム学専攻棟1階 講義室

〔福岡県春日市春日公園 6-1, JR (鹿児島本線)：大野城下車，徒歩7分，西鉄 (大牟田線)：白木原下車，徒歩15分，または福岡空港から車で25分，Tel. 092 (573) 9611 (内 442)〕

議題 特集：マイクロプロセッサ，DSP，および VLSI コンピュータ

(1) 計算機工学・集積回路工学教育用マイクロプロセッサ KUE-CHIP2

越智裕之，澤田 宏，岡田和久 (京大)，上嶋 明 (立命館大)，神原弘之 (京都高度技術研究所)  
濱口清治 (京大)，安浦寛人 (九大)

〔概要〕 計算機の入門教育，計算機アーキテクチャや集積回路システムの設計試作実験の教材として開発した。

(2) 再構成可能な論理 LSI を用いた教育用マイクロプロセッサ：KITE

末吉敏則，田中康一郎，柴村英智 (九工大)

〔概要〕 学生自身の手で設計から実装まで行え，一貫した計算機教育を実現するマイクロプロセッサを開発した。

(3) 機器組み込みマイコン用最適化Cコンパイラの性能評価

高山秀一 (松下電器)

〔概要〕 C言語でのプログラミングを前提としたプロセッサのアーキテクチャとそのコンパイラの評価を述べる。

(4) 擬似ベクトルプロセッサ上でのリストベクトル処理とその評価

位守弘充，中村 宏，朴 泰佑，中澤喜三郎 (筑波大)

〔概要〕 擬似ベクトルプロセッサでリストベクトル処理を効率よく処理する手法とその評価結果を示す。

(5) OSI CCR を用いた UNIX 用分散トランザクション処理方式

鈴木信雄，脇 英世 (東京電機大)

〔概要〕 OSI 標準の CCR を利用したマルチスレッド環境での分散トランザクション処理方式を提案する。

(6) パネル討論 (10月22日(木) 15:00~17:00)：ポスト64ビット・プロセッシング

モデレータ：矢野陽一 (日電)

\*22日(木)の研究会終了後，懇親会を予定しています。奮ってご参加ください。

\*今回の研究会は電子情報通信学会(集積回路研究会，コンピュータシステム研究会)との共催で開催されます。上記会告は8月10日現在の申込みによるもので，上記以降の申込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌9月号に掲載されますのでご了承ください。

\*IEEE Computer Society Tokyo Chapter 協賛

◆ 第64回 設計自動化研究会

(発表件数：未定)

(主査：上田和宏，幹事：川戸信明，河村匡彦，佐藤政生)

日時 平成4年10月22日(木)，23日(金) 時間未定

会場 東北大学 工学部 青葉記念会館

〔仙台市青葉区荒巻字青葉，JR：仙台下車，バス(西口9番)：工学部経由青葉城址循環，工学部経由宮教大，青葉台行きのいずれかで工学部前下車(約25分)，Tel. 022 (222) 1800 (内 4298)〕

## 議 題

- (1) ブロック間の相対位置制約の操作に基づくビルディングブロックフロアプラン設計手法  
山谷勝巳, 若林真一, 小出哲士, 吉田典可 (広島大)  
〔概要〕 ブロックの位置関係を規定する制約の除去と挿入を行いながらフロアプランを求める手法を提案する。
- (2) データパスレイアウトにおける機能ブロック配置アルゴリズム  
境 敏親, 若林真一, 小出哲士, 吉田典可 (広島大)  
〔概要〕 同型セルがビット数分並んだ機能ブロックより構成されるデータパスのブロック配置手法を提案する。
- (3) ASIP 用ハードウェア/ソフトウェア・コアデザインシステム PEAS の実現とその評価  
佐藤 淳 (鶴岡高専)  
〔概要〕 ASIP のソフトウェア開発環境と CPU コアデザインを同時に生成するシステムの評価結果を報告する。  
\*今回の研究会は電子情報通信学会 (フォールトトレラントシステム研究会) との共催で開催されます。上記会告は 8 月 5 日現在の申し込みによるもので、上記以降の申し込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌 9 月号に掲載されますのでご了承ください。

## ◆ 第 59 回 グラフィクスと CAD 研究会

(発表件数: 5 件)

(主査: 西原清一, 幹事: 宇野 栄, 大野義夫, 間瀬健一)

日 時 平成 4 年 10 月 23 日 (金) 13:10~16:40

会 場 東京電機大学 11 号館 1603 室

〔東京都千代田区神田錦町 2-2, 地下鉄: 丸の内線淡路町下車, 徒歩 7 分, 都営新宿線小川町下車, 徒歩 5 分, または JR (中央線, 総武線): お茶の水下車, 徒歩 10 分。Tel. 03 (5280) 1551〕

## 議 題

- (1) 打ち上げ花火の計算機シミュレーション  
木本 豪, 板橋秀一 (筑波大)  
〔概要〕 花火を筒, 玉, 星, 尾などの部分ごとにモデル化し, パーティクルシステムを基に実装した。
- (2) 拘束節点による樹木の揺らぎのシミュレーション  
河野 充 (岩手大), 佐藤義人 (日立), 千葉則茂 (岩手大)  
〔概要〕 緩やかに拘束された節点で記述された樹木のモデルにより, 揺らぎのシミュレーションを行う。
- (3) 三面図からの自動立体作成法  
田中雅次 (京都高度技術研究所)  
〔概要〕 サーフェスマodelより内部に面を含まない立体要素を作り, 三面図を基に組み合わせを考え解を求める。
- (4) 三角パッチモデルにおける部分的平滑化の一検討  
稲葉 圭, 村上伸一 (東京電機大)  
〔概要〕 三角パッチモデルで与えられた物体像のパッチ境界部分を部分的に平滑化する手法について述べる。
- (5) 「グラフィクスと CAD」文献データベース 1991  
西原清一 (筑波大), 宇野 栄 (日本 IBM)  
大野義夫 (慶大), 間瀬健一 (NTT), 杉原厚吉 (東大), 寺島廣克 (日電), 村上伸一 (東京電機大)  
〔概要〕 1991 年度に公表された出版物に記載されているグラフィクスと CAD 関連の文献データベース。

## ◆ 第 9 回 プログラミング—言語・基礎・実践—研究会

(発表件数: 11 件)

(主査: 安村通見, 幹事: 久世和資, 萩谷昌己, 松岡 聡)

日 時 平成 4 年 10 月 30 日 (金) 9:30~17:00

会 場 機械振興会館 6 階 66 号室 (所在地は前記参照)

## 議 題

## ● 一般発表

—9:30~12:10—

- (1) 実世界モデルにもとづく言語 NAIVE の論理体系  
日野克重 (富士通)  
〔概要〕 実体, 行為, および主体などの基本概念からなる実世界モデルを自然に表現する総合的論理系の提案。
- (2) Martin-Löf の型理論におけるオブジェクトおよび型についての開放性  
塚田恭章 (NTT)  
〔概要〕 メソッド計算上で型理論のモデルを帰納的に構成し, 開放性を数学的に表現できる統一的枠組を提案。
- (3) 並列計算機上のオブジェクト間の間接的通信の実現について  
小中裕喜, 横田隆史, 瀬尾和男 (三菱電機)  
〔概要〕 大域的に参照可能なオブジェクトを介したオブジェクト間通信の実現とその応用について述べる。
- (4) 仕様記述言語 CSP によるプロセス合成と Ada 並列処理プログラム開発の経験と評価  
辻ヶ堂信 (白鷗大), 疋田輝雄 (明大), 銀林 純 (富士通)  
〔概要〕 CSP による仕様記述とプロセス計算による検討の長所と短所および Ada プログラム開発との整合性等。
- (5) プロセス記述を指向した並列論理型言語  
宮崎敏彦 (沖電気)  
〔概要〕 並列論理型言語のストリームと再帰呼び出しによるプロセスの記述をサポートする言語の仕様。

—13:30~17:00—

- (6) Homomorphism Theorem of Generalized Logic Programs  
赤間 清 (北大)  
〔概要〕 抽象解釈やプランニングの抽象化の基礎となる準同型写像の理論を与える。

●小特集：90年代のコンパイラと言語実装技術

- (7) 一般化論理プログラミング言語 UL/a のコンパイラ 出葉義治, 繁田良則, 赤間 清, 宮本衛市 (北大)  
〔概要〕 GLP の理論に基礎づけられた言語 UL/a のコンパイラと仮想機械について述べる。
- (8) 項書換え系を用いたコード最適化とその拡張 澤田 潤 (京大)  
〔概要〕 中間コードの基本ブロックを等式論理で表し項書換え系でその最適化する手法とその拡張法。
- (9) SIMD 型超並列プログラミング言語「並C」とそのコンパイラ 貴島寿郎, 湯浅太一 (豊橋技科大)  
〔概要〕 C 言語を拡張した SIMD 型超並列プログラミング言語とそのコンパイラの概要を報告する。
- (10) OSCAR Fortran マルチグレイコンパイラ  
吉田明正, 岡本雅巳, 合田憲人, 尾形 航 (早大), 本多弘樹 (山梨大), 笠原博徳 (早大)  
〔概要〕 Fortran プログラムのマルチグレイ並列処理手法を提案し, その性能評価を OSCAR 上で行う。
- (11) 自己反映的並列オブジェクト指向言語 ABCL/R2 の高効率なコンパイラについて  
増原英彦, 松岡 聡, 米澤明憲 (東大)  
〔概要〕 自己反映計算を含む実行を高効率で行う ABCL/R2 コンパイラの設計と実現について述べる。

◆ 情報学基礎研究会

第 28 回 研究会の開催日程を下記のように変更いたします。なお、終了後簡単な懇親会を予定しております。多数のご参加をお待ちしております。詳細については次号 (10 月号) に掲載いたします。

日 程 平成 4 年 11 月 9 日 (月)  
 会 場 大阪大学 基礎工学部  
 議 題 特集：意味論とその応用

- ◆ ヒューマンインタフェース研究会
- ◆ 情報メディア研究会
- ◆ 音楽情報科学研究グループ

上記研究会と研究グループの合同研究会を下記のとおり開催いたします。奮ってご参加ください。

日 程 平成 4 年 11 月 12 日 (木), 13 日 (金)  
 会 場 国立民族学博物館 (大阪)  
 議 題 小特集：メディアとインタフェース, および一般

◆ オペレーティング・システム研究会

発表論文募集

第 56 回 研究会の発表論文を下記のとおり募集いたします。奮ってご応募ください。

日 程 平成 4 年 12 月 4 日 (金)  
 会 場 機械振興会館  
 議 題 特集：コンティニユアス・メディアとオペレーティング・システム

近年、画像、音声、テキストなどの新しいメディアを利用する分野の拡大にともない、計算機システムにおけるこれらのコンティニユアス・メディアの操作に関する研究が重要になっている。本研究会では、コンティニユアス・メディアを対象とした計算機システムのソフトウェア構成方式および実現方式に関する研究発表を特集し、この分野の研究・開発の動向を探るための討論を行う。

主なテーマ：コンティニユアス・メディアのリアルタイム処理方式、通信方式、オーサリング・システム、ユーザ・インタフェースの構成方式、実現方式。

発表申込締切 平成 4 年 9 月 30 日 (水)

\*研究会に発表申込希望者は研究発表申込書 (8 月号本欄末添付) を事務局研究会係までご送付ください。

◆ グループウェア研究グループ

(発表件数：8 件)

(主査：松下 温, 幹事：岡田謙一, 守谷康正, 山上俊彦)

シンポジウム開催

—グループウェアはマルチサイトオフィスのインパクトになるか—

日 時 平成 4 年 10 月 23 日 (金) 10:00~17:00 (\*受付開始 9:00)  
 会 場 慶應義塾大学 理工学部 厚生棟 大会議室

(横浜市港北区日吉 3-14-1, 東横線：日吉下車, 徒歩 10 分。Tel. 045 (563) 1141)

## 議 題

—10:00~10:50—

(1) 基調講演: マルチメディアコンピューティングの展望 松下 温 (慶大)

●セッション1 —10:50~12:00—

(2) 遠隔情報通信研究会について 千野正勝 (日本サテライトオフィス協会)

(3) 分散オフィスにおけるマルチメディアネットワークサービスについて 原島 博 (東大)

(4) 分散オフィスにおけるグループワークのためのインタフェース 安田 浩 (NTT)

●セッション2 —13:00~14:00—

(5) 分散オフィスにおける人間指向電子メール 岡田謙一 (慶大)

(6) 分散オフィスにおけるグループワークデータベースについて 滝沢 誠 (東京電機大)

—14:00~14:45—

(7) 招待講演: オフィス・コンセプト 近藤明夫 (内田洋行)

—15:00~17:00—

(8) パネル討論: 21世紀を目指した新しいワークスタイル 座長: 松下 温 (慶大)

・XEROXのNEW WORK WAYについて 秋葉孝次郎 (富士ゼロックス)

・臨場感通信と人工現実感 岸野文郎 (ATR)

・免疫系の計算原理に根ざした分散組織の構築 西山賢一 (国際大)

・分散環境のヒューマンファクタ 野呂影勇 (早大)

・豊かさと新たな社会・経済システムのありかた 萩原誠司 (通産省)

参加費 10,000円 (振込先: 富士銀行日吉支店 (普) 1343157 岡田謙一)

申込締切 平成4年10月13日(火) (150名程度の参加を予定しています)

申込・問合せ先 223 横浜市港北区日吉 3-14-1 慶應義塾大学 理工学部 計測工学科 岡田謙一

Tel. 045 (563) 1141 (内 3537) FAX 045 (562) 7625 e-mail: okada@inst.keio.ac.jp

\*日本サテライトオフィス協会後援

## 新入会員勧誘のお願い

本号末尾に入会申込書を添付いたしました。お近くに情報処理関連の学術研究・事業に携わっている方、関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、この機会に是非ご紹介ください。

なお、詳細は巻末の「入会のおすすめ」をご覧ください。

## 情報処理学会第 45 回 全国大会（平成 4 年後期）参加について

- 開催期日** 平成 4 年 10 月 11 日（日）～14 日（水）  
**会場** 徳島大学教養部（徳島市南常三島町）  
**プログラム** 詳細は本号黄色のページに掲載してあります。交通、会場などはプログラムの会場案内図を参照してください。

### 一般参加の方へ

1. **総受付** B 館 1 階 B101
2. **参加費** 会 員 1,000 円（賛助会員は 1 口 1 名として正会員に準じます。）  
非会員 2,000 円（ただし電気、電子情報通信、照明、テレビジョンの各学会会員は会員扱いとします。会員番号を申し出てください。）  
学 生 無 料
3. **論文集** 定価 6,000 円（予約は締切りました。）  
（当日お頒けできるのは、残部のある場合に限りです。）

◎参加される方は、受付にて参加費を納め、参加章を受けとってください。参加章のない方は会場に入れません。

### 一般講演を行う方へ

1. 講演者は、講演の始まる前に、必ず各セッション会場前の講演者受付で、出席の確認を受けてください。
2. 講演者は、前の講演者の講演時間中に、座長席の前に設けられた「講演者控」で待機するようにしてください。
3. 一般講演の時間は、質疑を含めて、15分を原則とします（都合により 13分のセッションもあります）。講演中でも時間がくれば打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の 5 分前および 3 分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代読は認めません。

---

### 研究賞・奨励賞の表彰

12 日（月）午後 12 時に平成 4 年度研究賞及び第 44 回全国大会奨励賞受賞者の表彰を A 会場（新聞放送会館 7 階ホール）で行います。

（その他の一般注意）

1. 食堂、休憩室などはプログラムの会場案内図等を参照のこと。
2. 電話の呼び出しはいたしません。  
（万一止むを得ない場合のみ、伝言板に掲示 : Tel. 0886 (26) 1992 FAX 0886 (26) 1994）
3. 駐車場がないので、自家用車による参加はできません。



## 奨励賞候補の推薦について

全国大会で優秀な論文を発表した会員の中から、大学学部卒業後10年未満（またはこれと同等）の若手の科学者・技術者約10名を選び、奨励賞を贈呈し表彰いたしております。

つきましては、来る10月12日～14日に徳島大学で開催される第45回全国大会での登壇発表者の中から、下記により受賞候補者1名をご推薦くださいますようお願いいたします。

また、第45回全国大会参加者には会場に推薦用紙を用意してありますので、会場でご推薦くださるようお願いいたします。

なお、受賞者の選定は奨励賞委員会（委員長 相磯副会長）で行い、その発表と表彰は来年3月に開催の第46回全国大会（工学院大学）時に行われる予定です。

### 記

#### 選定範囲および推薦数

第45回全国大会で発表された優秀な論文の登壇発表者1名

**推薦資格** 本学会正会員に限る。

**推薦方法** 官製はがきに、推薦する論文の ①講演番号 ②題目 ③登壇発表者名 ④所属 ⑤出身校(学部)卒年 ⑥推薦理由および推薦者の氏名、所属、住所をもれなくご記入のうえ、本会奨励賞係あてお送りください。

**推薦締切** 平成4年10月31日（当日消印有効）

### 表彰規程(抜粋)

#### 第5章 奨励賞

第19条 奨励賞は、情報処理に関する学問、技術の奨励のため、有為と認められる新進の科学者または技術者に贈呈する。

第20条 奨励賞を受ける者は、全国大会において優秀な論文を発表した者で、つぎの各号に該当する者から選定する。

- イ 選定の時期において本会会員であること（選定の時期とは、第1回の委員会開催時とする。）
- ロ 講演の時期において大学の学部卒業後10年未満の者またはこれと同等と認められる者であること。
- ハ 大会参加申込の際講演者として登録かつ講演を行った者であること。
- ニ 本奨励賞を受けたことのないものであること。

第21条 第20条の選定は、全国大会終了後速やかに行う。

第22条 奨励賞は、毎回約10名ずつ選定し、贈呈する。

第23条 奨励賞は、賞状、賞牌および賞金とする。

賞金は、1名につき20,000円とする。

## 第 45 回 全国大会「チュートリアル・セッション」開催について

本会では、全国大会の前日にチュートリアル・セッションを開催することにしております。多数の会員が一堂に会する機会にチュートリアル・セッションを開催し、会員の方々の関心のあるテーマを取り上げ、理解を深めたいと考え、この分野の第一線でご活躍の専門家により、最新の技術、さらには将来展望をも含めたチュートリアル・セッションを考えております。

つきましては、標記チュートリアル・セッションを下記により企画いたしました。この機会に奮ってご参加されるようお勧めいたします。

**日 時** 平成 4 年 10 月 11 日 (月) 10:00~17:00  
**場 所** 徳島大学教養部 B 館 B201 教室 (徳島市南常三島町)  
**参 加 費** 会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生 2,000 円  
 (資料のみ 3,000 円, 送料込)  
**申込締切** 平成 4 年 9 月 21 日 (月)

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

#### 並列・分散・協調 AI

10:15~10:30	テーマの紹介 .....	赤埴 淳一 (NTT)
10:30~11:45	1. 超並列 AI .....	北野 宏明 (日電)
11:45~12:50	[昼休み]	
12:50~14:05	2. マルチエージェント・プランニング .....	大沢 英一 (ソニー・コンピュータサイエンス研究所)
14:05~14:15	[休 憩]	
14:15~15:30	3. 協調型ソフトウェア .....	本位田真一 (東芝)
15:30~15:40	[休 憩]	
15:40~16:55	4. 包摂アーキテクチャとコネクティクス .....	奥乃 博 (NTT)

## ~~~~~ 本 会 協 賛 等 の 行 事 案 内 \* ~~~~~

第 15 回 科学講演会 平成 4 年 10 月 2 日 (金)	東京・経団連会館
第 35 回 標準化全国大会 平成 4 年 10 月 20 日 (火)~22 日 (木)	東京・JA ホール
最先端画像計測セミナー 平成 4 年 11 月 13 日 (金)	インテックス大阪
講習会「快適さを実現するファジィ理論—モノづくりの心—」 平成 4 年 11 月 19 日 (木)	名古屋・日刊工業新聞社
システム制御情報チュートリアル講座 '92「H <sup>*</sup> 制御の新しい展開と応用の実際」 平成 4 年 11 月 25 日 (水)~27 日 (金)	大阪・三田出版社
平成 4 年 12 月 2 日 (水)~4 日 (金)	東京・ダイヤモンド社

\* 詳細は本号会議案内欄参照

## 第45回 全国大会「チュートリアル・セッション」

## 参加申込書

平成4年 月 日

標記チュートリアル・セッションの参加を下記によって申し込みます。

## ○参加費（該当するものを○でかこむ）

正会員、賛助会員 10,000円 非会員 15,000円 学生（含大学院生） 2,000円

\*参加費には、資料代が含まれています。

## ○テキストのみ（3,000円、送料込） \_\_\_\_\_冊

## ○申込先 情報処理学会 チュートリアル係

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル3F

Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

## ○送金方法

\* \_\_\_\_\_円を a) 当日、会場受付にて支払います。

b) \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日送金します。

\*（bを選択した方のみご記入ください）

b-1) 現金書留（送金先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル  
（社）情報処理学会 チュートリアル係）

b-2) 銀行振込（いずれも普通預金口座）

第一勧銀虎ノ門支店 1013945 富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 さくら銀行東京営業部 4298739

住友銀行東京公務部 10899 三和銀行東京公務部 21409

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

・送金先銀行名 \_\_\_\_\_銀行宛

・送金取扱銀行名 \_\_\_\_\_銀行 \_\_\_\_\_支店より

・送金人名義 \_\_\_\_\_様

\*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通、見積書 通、納品書 通

請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は1枚1人としてください。（コピーで申し込むこと）

.....  
(楷書でハッキリ記入してください)申込者  
連絡先 〒 \_\_\_\_\_機関・  
部課名 \_\_\_\_\_

フリガナ

氏名 \_\_\_\_\_ 殿

Tel. \_\_\_\_\_ (ex. \_\_\_\_\_) FAX \_\_\_\_\_

## 情報処理学会 第46回 全国大会実施要領

講演発表希望者は、実施要領を熟読のうえ、日程に従って所定の手続きを進めてください。

論文締切日の厳守を徹底しますので、論文等の提出は必ず期日までにお出しください。一日でも遅れると発表できなくなりますので、特にご注意願います。

**開催期日** 平成5年3月23日(火)～26日(金)

**会場** 工学院大学(東京都新宿区西新宿)

**日程一覧** 1. 講演申込書の送付

学会誌本号(Vol. 33, No. 9)掲載の講演申込書に記入して、応募規程 IV. の申込方法により **12月1日(火)までに(必着)** お送りください。なお12月1日に持参する方は、本部事務局会議室にて受付けています。締切に遅れますと発表できなくなりますので、特にご注意ください。

2. プログラム編成委員会の開催

講演申込書を締切り次第、大会プログラムの編成および座長候補の推薦を行います。

3. 原稿用紙等の送付

12月中旬に事務局から「論文原稿用紙」等をお送りします。講演番号も同時に通知いたします。

4. 講演論文等の提出

講演論文原稿および登録原稿等を一括して**1月25日(月)までに**、学会事務局に必着するようご提出ください。

5. 大会プログラムを学会誌2月号(Vol. 34, No. 2)に掲載いたします。発表者は特にご注意ください。

**応募規程**

I. 講演内容

1. 全国大会にふさわしい内容を備えたものとします。
2. 発表は日本語または英語とします。

II. 応募資格

1. 登壇発表者は申込時に情報処理学会個人会員であること。
2. 共同発表者は当学会個人会員であることが望ましい。
3. 平成4年度会費未納の会員は発表できません。
4. 電気、電子情報通信、照明、テレビジョン各学会会員は当学会会員と同様の取り扱いとします。ただし、奨励賞の表彰対象者にはなれません。

III. 講演論文該当分野

1. 情報科学一般

A. 一般

- a. 哲学, b. 歴史, c. 伝記, d. その他

B. 社会

- a. 規格, b. 標準化, c. 知的所有権, d. 社会問題, e. その他

C. 教育

- a. 情報科学・工学の教育, b. カリキュラム, c. コンピュータリテラシ, d. CAI, e. 教育工学, f. その他

2. 基礎理論及び基礎技術

A. 情報数学

- a. 形式論理, b. オートマトン理論, c. 形式言語理論, d. 計算可能性の理論, e. 計算の複雑さ, f. アルゴリズム論, g. グラフ理論, h. 組合せ理論, i. ファジィ理論, j. 符号理論, k. 整数論, l. その他

B. 情報理論及びOR

- a. 情報理論, b. 線形・非線形計画法, c. 動的計画法, d. 整数計画法, e. ゲーム理論, f. 待ち行列理論, g. その他

C. データ解析

- a. 推定・検定, b. 確率モデル, c. 統計・確率計算, d. 多変量解析, e. その他

- D. 数値計算  
 a. 誤差解析, b. 関数近似, c. 補間, d. 線形計算, e. 非線形方程式, f. 数値微積分, g. 常微分方程式, h. 偏微分方程式, i. 積分方程式, j. 極値問題, k. 最適化, l. 特殊関数, m. 数式処理, n. 乱数, o. その他
- E. シミュレーション  
 a. 有限要素法, b. 境界要素法, c. 差分法, d. モンテカルロ法, e. その他
3. 人工知能及び認知科学
- A. 基礎理論  
 a. 探索, b. 定理自動証明, c. 推論方式, d. 知識表現, e. 知識獲得, f. 非単調理論, g. 学習理論, h. コネクションイズム, i. その他
- B. 人工知能システム  
 a. エキスパートシステム, b. ガイダンスシステム, c. エキスパートシステム作成支援ツール, d. ゲームプログラム, e. 演繹データベース, f. 知能ロボット, g. その他
- C. 自然言語処理  
 a. 機械翻訳, b. 自然言語インタフェース, c. 対話システム, d. 形態素解析, e. 構文解析, f. 意味解析, g. 文生成, h. 談話理解, i. 文法, j. 辞書, k. その他
- D. パターン認識  
 a. 音声認識, b. 話者識別, c. 画像理解, d. 物体認識, e. 文字認識, f. リモートセンシング, g. その他
- E. 生体情報処理  
 a. 視覚, b. 聴覚, c. 神経モデル, d. ニューラルネットワーク, e. その他
- F. 感性情報処理  
 a. 心理モデル, b. 行動モデル, c. 感情モデル, d. その他
4. データ処理
- A. 音声処理  
 a. 音声分析, b. 音声合成, c. その他
- B. 画像・図形処理  
 a. 画質改善, b. 帯域圧縮, c. 符号化, d. 曲面合成, e. トモグラフィ, f. 3次元処理, g. グラフィックス, h. アニメーション, i. その他
- C. テキスト処理  
 a. ワードプロセッシング, b. 日本語入出力, c. 文書処理, d. 卓上出版, e. フォントデザイン, f. その他
- D. マルチメディア処理
5. ソフトウェア
- A. 基礎理論  
 a. プログラム理論, b. オペレーティングシステム理論, c. データベース理論, d. 形式的意味論, e. 算法論理, f. 検証理論, g. カテゴリ理論, h. 属性文法, i. 計算パラダイム, j. プログラム合成・変換, k. その他
- B. プログラム言語及び仕様記述言語  
 a. 手続き型言語, b. 論理型言語, c. 関数型言語, d. オブジェクト指向言語, e. 並列処理言語, f. システム記述言語, g. 数式処理言語, h. シミュレーション言語, i. 仕様記述言語, j. その他
- C. 言語処理系  
 a. 構文解析, b. コード生成, c. 最適化, d. コンパイラ, e. インタプリタ, f. その他
- D. ツール  
 a. エディタ, b. デバッガ, c. ベリファイヤ, d. コンパイラジェネレータ, e. ウィンドウシステム, f. その他
- E. オペレーティングシステム  
 a. 記憶管理, b. 入出力管理, c. 障害管理, d. 通信管理, e. ファイル管理, f. ジョブ・タスク管理, g. 自動運転管理, h. 並列分散処理, i. 例外処理, j. 性能評価, k. その他
- F. データベース・情報検索  
 a. データモデル, b. データ言語, c. データベース設計, d. 質問処理, e. トランザクション処理, f. 一貫性制約, g. ファイル構成, h. 検索方式, i. 分散データベース, j. マルチメディアデータベース, k. その他
- G. プログラミング技術  
 a. データ構造, b. ガーベジコレクション, c. ハッシング, d. ソーティング, e. サーチング, f. その他

## 6. ソフトウェア工学

## A. 開発技術

- a. 設計理論, b. 要求分析法, c. 仕様記述法, d. プログラミング方法論, e. プロトタイピング, f. 部品化・再利用技術, g. プログラム自動構成, h. その他

## B. テスト・保守

- a. プログラムのテスト・デバッグ, b. プログラム検証, c. 性能評価, d. プログラム解析, e. 保守運用管理, f. その他

## C. ソフトウェアプロセス

- a. プロセスモデル, b. プロセスプログラミング, c. 工程管理, d. その他

## D. 開発環境

- a. 構成理論, b. 分散開発環境, c. 文書化支援, d. その他

## E. ヒューマンファクタ

- a. マン・マシンインタフェース, b. 要員教育・プロジェクト管理, c. プログラミング行動, d. その他

## 7. ハードウェア

## A. 基礎理論

- a. 組合せ回路理論, b. 順序回路理論, c. 論理設計理論, d. レイアウトアルゴリズム, e. ハードウェアアルゴリズム, f. その他

## B. 論理回路

- a. 記憶回路, b. 演算回路, c. 制御回路, d. 誤り検出・訂正回路, e. テスト容易化回路, f. その他

## C. デバイス

- a. 論理デバイス, b. 記憶デバイス, c. 入出力デバイス, d. ASIC PLD, e. その他

## D. アーキテクチャ

- a. 汎用計算機, b. 専用計算機, c. スーパーコンピュータ, d. ワークステーション, e. 高級言語マシン, f. 非ノイマンアーキテクチャ, g. 並列アーキテクチャ, h. マイクロプログラム, i. フォールトトレランス, j. その他

## E. 周辺・端末

- a. 外部記憶, b. ディスプレイ装置, c. ハードコピー装置, d. 文字読取装置, e. 図形入出力装置, f. 音声入出力装置, g. その他

## F. 設計技術及び設計自動化

- a. 方式設計, b. 機能設計, c. 論理設計, d. レイアウト設計, e. テスト設計, f. 設計記述言語, g. シリコンコンパイラ, h. その他

## G. 開発環境

- a. 統合化ツール, b. 設計環境, c. 設計データベース, d. その他

## H. テスト・検証

- a. LSI テスト, b. ハードウェア設計検証, c. 性能評価, d. その他

## 8. ネットワーク

## A. 通信技術

- a. データ交換方式, b. 通信方式, c. 画像通信, d. トラヒック理論, e. ネットワークアーキテクチャ, f. プロトコル, g. プロトコル検証, h. その他

## B. ネットワーク管理

- a. 名前管理, b. 経路管理, c. 障害管理, d. その他

## C. コンピュータネットワーク

- a. WAN, b. LAN, c. 電子会議, d. 電子掲示板, e. 電子メール, f. 分散処理, g. その他

## 9. システム

## A. 対話型システム

- a. 構成理論, b. 方法論, c. CAE, d. CAD, e. CAM, f. CIM, g. CAI, h. 管制システム, i. 訓練システム, j. 意志決定システム, k. オフィスシステム, l. その他

## B. オンラインシステム

- a. 予約システム, b. バンキングシステム, c. その他

## C. 制御システム

- a. プロセス制御, b. 数値制御, c. 通信制御, d. 産業用ロボット, e. FA, f. その他

## D. システム評価

- a. 評価技法, b. 評価指標, c. 評価モデル, d. その他

## 10. 信頼性と安全性

## A. 信頼性

- a. 信頼性理論, b. 保全性理論, c. 信頼性評価, d. 故障解析, e. その他

## B. 機密保護

- a. 暗号理論, b. 認証, c. 鍵管理, d. 鍵配送, e. セキュリティ, f. その他

## 11. 応用

## A. 企業等への応用

- a. オフィス, b. 行政, c. 経営, d. 金融, e. 情報サービス, f. 生産管理, g. 計算機センタ運営, h. 教育, i. その他

## B. 工学等への応用

- a. 航空・宇宙, b. 機械, c. 土木, d. 建築, e. 都市, f. 電気・電子, g. 計測, h. 生物, i. 物理, j. 化学, k. 原子力, l. 輸送・交通, m. 医学・歯学, n. その他

## C. 芸術等への応用

- a. 音楽, b. 絵画, c. 商業デザイン, d. その他

## D. その他への応用

- a. 自然科学, b. 社会科学, c. 人文科学, d. 障害者補助, e. その他

## IV. 申込方法

1. 本号会告のページ掲載の「**全国大会講演申込書**」に必要事項を記入して**12月1日(火)**までに**(必着)** 申込むこと。

2. 講演申込は講演申込書および講演参加費を添えて申込むこと。

なお、連続発表を希望される場合は、別紙にて標題、講演者名および発表順番を明記し、まとめて送付すること。

## V. 申込件数

1. 登壇発表は原則として1人1件とします。

2. 2件以上になる場合は、1件ごとに発表料が必要です。また、別紙にて標題、発表分野を明記し、まとめて送付すること。

## VI. 講演参加費

1. 1件につき、会員は**7,000円**、学生は**4,000円**です。

2. 講演申込書を提出する際、同時に納入してください。なお、納入後、発表申込を取消されても返金できませんのでご注意ください。

## VII. 論文原稿提出

1. 論文原稿は、**1月25日(月)** **(必着)** までに提出してください。

2. 論文は日本語または英語とします。

3. 論文抄録を「学会発表データベース(第一系)、学術情報センター」に入力しますので、所定の用紙および記入要領に従って記入のうえ論文と一緒に提出してください。なお、著作権は学会と共有です。

4. ワープロ、タイプで作成した原稿はプリントした原文をお使いください。

5. **論文原稿提出後の訂正は一切取扱いません。**よく推敲して提出してください。

6. 論文原稿の返却はいたしません。

## VIII. 論文の採否

講演論文の採否は大会運営委員会(プログラム編成委員会)が決定する。採択しないものは、例えば次のような場合である。

1. 論文の内容が著しく不十分なもの。
2. 内容が商業宣伝に偏したもの(極端な商品名の引用には注意する)。
3. 同一または類似の発表がなされており、かつ前進がないもの。
4. 応募規程に違反するもの。
5. 提出期限に遅れたもの(次回への応募をお薦めします)。

## IX. 論文集の配布

発表者には講演論文を含んだ論文集1冊を事前に郵送します。

## X. 発表論文の別刷はいたしません。

## XI. 発表当日の講演者心得

1. 講演の始まる前に、必ず自分の発表会場の講演者受付で、出席の確認を受ける。

2. 必ず前の講演者の講演時間中には、座長席の隣に設けられた講演者控え席で待機する。
3. 一般講演の時間は、質疑を含めて15分間とします（都合により13分間のセッションもあります）。講演中でも時間切れで打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の5分前および3分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代理（読）は認めません。

## XII. 申込先及び問合せ先

(社)情報処理学会 全国大会係

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (3505) 0505

# 有 料 会 告 に つ い て

本会の共催行事および協賛・後援行事の次第書（論文募集、参加案内等）の会告欄掲載については、下記により有料で取扱いますのでお知らせします。なお、会議案内欄への掲載については従来どおり無料です。

また、教官募集欄の掲載は、平成4年4月号掲載分から、下記のとおり有料となりましたので、あわせてお知らせします。

## 記

### 1. 掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金
行事次第書	国際会議、シンポジウム、講演会、講習会等の論文募集・参加案内に限る。	1 ページ または 1/2 ページ	(共 催) 1 ページ 50,000 円 1/2 ページ 30,000 円
			(協賛・後援) 1 ページ 100,000 円 1/2 ページ 60,000 円
教官募集	学校またはその附属機関、公益法人、官公庁およびその研究機関等の教職員・研究員募集に限る。	1/5 ページ	1 件当たり 20,000 円

### 2. 申込方法

B5判任意の用紙で、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先等を記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申込みください。

### 3. 原稿の書き方

行事次第書：原則としてB5判カメラレディとします。B5判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。なお、原稿作成にあたり様式（字の大きさ、ゴシック等）については、本誌会告記載内容をご参照願います。

教職員募集：求人側の必要事項を明記してください。

なお、記事内容については本会は責任を負いません。

### 4. 申込期限

毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

### 5. 掲載料金

掲載号発行後に料金を請求いたしますので、その翌月月末までにお支払いください。

### 6. 掲載申込先

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル (社)情報処理学会 有料会告係

Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925



**情報処理学会第 46 回全国大会  
講演申込書**

受番	付号	
講番	演号	

掲載ページ	
-------	--

第 46 回 全国大会に下記により講演申込をいたします。

標 題 注 1)						
フリガナ 注 1)						
著者名						
所属名						
フリガナ 著者名 所属名				← 注) 講演者を○印で表示してください。(氏名の左上) 講演者会員種別 (○印で囲む) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>正会員</td> <td>学生会員</td> </tr> </table>	正会員	学生会員
正会員	学生会員					
論文該当分野 注 2)	(1)	(2)	(3)	*1 注 3)    *2 注 3)		

- 注 1) 学会誌発表および論文集掲載の「プログラム」は本欄記入事項により作成しますので、題目、氏名はみだりに変更しないでください。
- 注 2) 論文募集要領の論文該当分野表を参照し、できるだけふさわしい分野をご記入ください。優先順位順に複数分野を記入してけっこうです。(例“ソフトウェア工学分野, 開発環境”の場合, 6Dと書く)
- 注 3) 複数件講演申し込みをされる方は他の申込書の論文該当分野を上欄の \*1 または \*2 に記入してください。

**論 文 要 旨 (300 字程度)**


**第 46 回 全国大会講演発表用原稿用紙送付宛名** (講演者氏名をお書きください)

◎ 原稿用紙等の送料として郵便切手 175 円を添付のこと。

講演番号	(楷書でハッキリ記入してください)
原稿用紙送付先 〒	_____
機 関・部 課 名	_____
フリガナ 講演者氏名	_____ 殿 (会員番号 _____)
Tel.	_____ (ex. _____) FAX _____

会 告

第46回 全国大会講演参加費送金連絡票

この連絡票は講演参加費の入金を正確に把握するためのものです。下記の点に注意してご記入願います。

1. 1件につき、会員は7,000円、学生は4,000円（講演者には参加章・プログラム・論文集1冊を事前発送します）。
2. 講演不採択の場合は、講演参加費を返却しますが、申込後取消しの場合は返却しません。
3. 講演参加費は、講演申込書に現金を添えて学会事務局に持参くださるか、あるいは郵便振替を原則とします。
4. 事務の簡素化のため、現金持参以外の方は全てこの用紙に記入し、機関ごとにとまとめてご提出ください。
5. 銀行振込は、所定の銀行口座（三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会普通口座 No. 0003774）にご送金ください。  
 なお、座長、プログラム編成委員および現地実行委員は無料です。  
 但し、2件以上の場合には1件増すごとに4,000円か7,000円をご送金ください。  
 注）ご送金は登壇発表者名をお願いします。
6. 2件以上まとめて支払う場合には講演者氏名欄に各講演者名をもれなくご記入ください。（共著者の氏名は記入しないでください。）
7. 支払い件数が多く、下の票に講演者氏名が書ききれない場合は別にリストをつけてください。
8. 講演参加費は消費税対象外です。
9. 講演参加費は平成4年12月1日までにお支払い願います。

講演参加費	4,000円	件	7,000円	件
講演者氏名	○		○	
	○		○	
	○		○	
合計金額				円
必要書類：請求書 通、納品書 通、見積書 通 ※必要のない方は空欄のままです。				
送金方法： <input type="checkbox"/> 郵便振替（東京 5-83484） ※該当個所にレ印を付けてください <input type="checkbox"/> 銀行振込 _____ 銀行 （専用銀行口座：三菱銀行虎ノ門公務部情報処理学会講習会普通口座 No. 0003774） 送金月日： 月 日 送金人名義：				
通信欄：				
（楷書でハッキリ記入してください）				
講演参加費 取 扱 者 連 絡 先	〒 _____			
機 関 ・ 部 課 名	_____			
フリガナ 氏 名	_____ 殿			
Tel. _____	(ex. _____)		FAX _____	

会  
告

# 「グラフィクスと CAD シンポジウム」開催について

——新たなバーチャルリアリティを求めて——

標記シンポジウムに関して、多数の論文をご応募いただき誠にありがとうございました。論文審査の結果、下記要領でシンポジウムを開催することになりました。多数の方々のご参加をお願いいたします。

日 時 平成4年9月24日(木) 午前9時～午後5時20分(午後5時30分より懇親会)  
9月25日(金) 午前9時～午後5時20分

場 所 工学院大学3階 AV ホール (JR 新宿駅西口から地下通路京王プラザ方面 徒歩約4分)  
新宿区西新宿 1-24-2 Tel. 03 (3342) 1211

主 催 情報処理学会グラフィクスと CAD 研究会

参加費 正会員 15,000 円 非会員 25,000 円 (いずれも論文集を含む)  
学生会員 5,000 円 (論文集含む) 論文集のみ 5,000 円 (送料込み)  
懇親会参加費 3,000 円 (参加申込と同時に申し込みください)

申込締切 平成4年9月18日(金) (定員180名になり次第締め切らせていただきます。資料のみの方は、印刷部数に限りがありますので、なるべく早めにお申し込みください。)

申込先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル  
(社)情報処理学会「グラフィクスと CAD」シンポジウム係

## ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第1日 9月24日(木) (9:00~17:20)

開 会 (9:00~9:10) 司会 間瀬 健二 (NTT)

挨拶 西原 清一 (筑波大)

セッション1 モデリング (9:10~10:10) 座長 柿本 正憲 (富士通研)

● 仮想空間における自由曲面モデリングへの階層化B-スプラインの応用 橋本 守, 篠原 克也 (日電)

● 仮想服飾環境 PARTY—動的変形可能な布のモデルと数値計算法—

坂口 嘉之 (東洋紡績), 美濃 導彦, 池田 克夫 (京大)

——休憩 (10:10~10:20)——

招待講演 (10:20~11:20) 司会 宇野 栄 (日本IBM)

「バーチャルリアリティは新しいメディアになるか」 服部 桂 (朝日新聞社)

——休憩 (11:20~11:30)——

セッション2 デザイン (11:30~12:30) 座長 小堀 研一 (大阪工大)

● インタラクティブな広域空間ウォークスルー 加藤 伸子 (東芝)

● 代数的制約記述に基づく配色デザインシステム 松山 隆司, 山口 修 (岡山大)

——昼休み (12:30~13:30)——

セッション3 レンダリング (13:30~15:00) 座長 安田 孝美 (名大)

● 大気散乱を考慮した地球の表示法 白井 隆雄, 西田 友是 (福山大), 中前栄八郎 (広島県立大)

● アトリウム内の光環境シミュレーション 尊田 嘉之, 樋口 作夫, 北村由美子, 大柿 聡 (旭硝子)

● 生物学的モデルに基づく紅葉の可視化—葉のレベルにおける色変化—

早乙女良江, 藤代 一成, 池辺八洲彦 (筑波大)

——休憩 (15:00~15:20)——

パネル討論 (15:20~17:20) 座長 廣瀬 通孝 (東大)

「バーチャルリアリティからグラフィクスへの期待」

岩田 洋夫 (筑波大), 竹村 治雄 (ATR), 野村 淳二 (松下電工), 菊地 望 (日通エレクトロニクス)

第2日 9月25日(金) (9:00~17:20)

セッション4 ヒューマンインタフェース (9:00~10:00) 座長 安生 健一 (日立)

● 曲線・曲面の直接変形 山下 樹里, 福井 幸男 (製品科学研)

- 知的デスクワーク支援システム (IDWS) の機能と支援方式

穂坂 衛, 斉藤 剛, 小林 弘忠 (電機大)

—休憩 (10: 00~10: 20)—

セッション 5 形状処理 (10: 20~11: 50)

座長 西原 清一 (筑波大)

- 位相優先法—幾何的アルゴリズムの数値的安定化のための一手法
- 三面図データからの自動立体復元
- 超 2 次曲面を用いた濃度表現モデルとその多面体化手法

杉原 厚吉 (東大)

増田 健, 山口富士夫 (早大)

寺沢 幹雄, 木村 文彦 (東大)

—昼休み (11: 50~12: 50)—

セッション 6 可視化技術 (12: 50~14: 20)

座長 西田 友是 (福山大)

- 有限要素法解析結果の可視化システムとその応用
- 四面体格子内部における直線追跡
- 確率分布のボクセル表現による形状生成手法

小山田耕二 (日本IBM)

森脇 惇 (日本IBM)

中村 博之 (野村総研), 山口 泰 (電機大), 木村 文彦 (東大)

—休憩 (14: 20~14: 40)—

セッション 7 アート (14: 40~15: 40)

座長 大野 義夫 (慶大)

- Bezier 関数を用いた墨絵の表現
- フラクタル図形の動画への試み—マンデルブロ集合とジュリア集合—

—休憩 (15: 40~15: 50)—

セッション 8 アニメーション (15: 50~17: 20)

座長 福井 一夫 (NHK)

- 表情豊かな顔のアニメーションを目指して

竹内 彰一, Steave Franks (ソニーコンピュータサイエンス研究所)

- 動力学に基づいたアニメーションのための体積保存変形的手法

寺沢 幹雄, 木村 文彦 (東大)

- 多関節動作体の歩行動作表現の構造的手法

水野 裕識, 田淵 仁浩, 村岡 洋一 (早大)



会  
告



## 「グラフィクスと CAD シンポジウム」

## 参加申込書

平成4年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

## ○参加費（該当するものを○でかこむ）

正会員、賛助会員 15,000 円 非会員 25,000 円 学生会員 5,000 円

\* 参加費には、資料代が含まれています。

懇親会 3,000 円

## ○資料のみ（5,000 円、送料込）\_\_\_\_\_冊

## ○送金方法（該当するものを○でかこむ）

合計\_\_\_\_\_円を

a) 当日、会場受付にて支払います。

b) 現金書留で \_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日送金します。

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 第一勧銀虎ノ門支店 1013945  | 4. 富士銀行虎ノ門支店 993632   |
| 2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 | 5. さくら銀行東京営業部 4298739 |
| 3. 住友銀行東京公務部 10899    | 6. 三和銀行東京公務部 21409    |

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

・送金人名義 \_\_\_\_\_様

\* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は1枚1人としてください。（コピーで申し込むこと）

## ○申込先・送金先（FAX も可）

情報処理学会 シンポジウム係 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル3F

Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

.....  
(楷書でハッキリ記入してください)申込者  
連絡先 〒 \_\_\_\_\_機関・  
部課名 \_\_\_\_\_フリガナ  
氏名 \_\_\_\_\_

殿

Tel. \_\_\_\_\_ (ex. \_\_\_\_\_) FAX \_\_\_\_\_

## 「メディアと情報処理」シンポジウム開催について

標記シンポジウムを下記の要領で開催いたします。参加ご希望の方は、期日までに必要事項を申込書に記入のうえお申し込みください。

日 時 平成4年10月1日(木) 8:30 受付開始, 9:00 開会～  
2日(金) 17:00 閉会

場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)  
(東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄:日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, または JR: 浜松町下車, バス:渋谷-東京タワー線東京タワー, 渋谷-東京八重洲口線虎ノ門5丁目下車。)

主 催 情報処理学会情報メディア研究会

参加費 正会員 12,000円 非会員 18,000円 学生会員 6,000円

参加申込締切 平成4年9月17日(木)

申込先 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル  
(社)情報処理学会「メディアと情報処理」シンポジウム係

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第1日 10月1日(木)

セッション1 物語とメディア (9:00~13:00) 司会 石塚 英男(電子ライブラリコンソシアム)

[基調講演] 情報文化技術と編集工学 松岡 正剛(編集工学研究所)

人間は物語をとおして情報編集技術を保存してきた。そのしくみを総合的に取り出す可能性を追求する。

- メディアと大規模知識 横井 俊夫(日本電子化辞書研究所)  
人間からコンピュータにいたる知識表現のメディアを統合的に扱うことにより大規模知識に辿り着く。
- 物語プログラミングの課題 竹内 郁雄(NTT)  
物語の創作や解析を計算機プログラミングの立場から考察する。
- 物語とシンセティック・メディア 田中 譲(北大)  
シンセティック・メディアを基盤として、物語の編集支援機能がどのように導入可能かを探る。

セッション2 オフィス情報処理のパラダイム変換 (14:00~17:00) 司会 上林 憲行(富士ゼロックス)

[基調講演] 企業活動とドキュメント 牧野 克夫(富士ゼロックス)

思考ないし意志決定過程におけるドキュメントの役割を成長するドキュメントなる視点より議論する。

- 日本におけるドキュメンテーションへの道 鎌田 博樹(創研プランニング)  
欧米諸国と言語文化的に異なる日本におけるドキュメンテーション・システムの構築について述べる。
- メディアの変容と再生 滑川 海彦(法政大)  
分散ネットワーク上の電子メディアの将来イメージとオブジェクト指向の役割を検討する。

第2日 10月2日(金)

セッション3 バーチャル・コミュニティ (9:00~13:00) 司会 中川 透(NTT)

[基調講演] グローバル・バーチャルコミュニティ 会津 泉(ネットワークデザイン研究所)

大分 COARA からベイエリア WELL まで、多様で相似なバーチャルコミュニティを語る。

- ネットワークコミュニティの実像 高橋 慈子(ハーティネス)  
日経 MIX の電子会議での6年間の議長経験をとおして、参加者の行動と心理について報告する。
- NETTOWN 構想——社会, メディア, システム 野々垣 且(富士通)  
町にオフィスに、種々の形を取って広がる情報が作るシステムの形とその進むべき方向を示す。
- バーチャル世界の人間(じんかん)通信 吉田 敦也(京都芸芸繊維大)  
「ハビタット」の作る仮想空間での対話や討論の特性、仮想現実社会への適応プロセスなどの分析結果を報告する。

パネル 今なぜメディアなのか? (14:00~17:00) 司会 田中 譲(北大)

パネラ 会津 泉(ネットワークデザイン研究所), 石塚 英男(電子ライブラリコンソシアム),  
上林 憲行(富士ゼロックス), 田村 秀行(キャノン), 中川 透(NTT),  
松岡 正剛(編集工学研究所), 牧野 克夫(富士ゼロックス)

## 「メディアと情報処理シンポジウム」参加申込書

平成4年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

## ○参加費（該当するものを○でかこむ）

会員 12,000円, 非会員 18,000円, 学生 6,000円,

\* 参加費には、資料代が含まれています。

## ○論文集のみ（5,000円、送料込）\_\_\_\_\_冊

## ○送金方法（該当するものを○でかこむ）

合計\_\_\_\_\_円を

a) 当日、会場受付にて支払います。

b) 現金書留で \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日送金します。

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 第一勧銀虎ノ門支店 1013945  | 4. 富士銀行虎ノ門支店 993632   |
| 2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 | 5. さくら銀行東京営業部 4298739 |
| 3. 住友銀行東京公務部 10899    | 6. 三和銀行東京公務部 21409    |

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

・送金人名義 \_\_\_\_\_様

\* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は1枚1人としてください。(コピーで申し込むこと)

## ○申込先・送金先 (FAX も可)

情報処理学会 メディアと情報処理シンポジウム係 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル3F

Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

.....  
(楷書でハッキリ記入してください)申込者  
連絡先 〒 \_\_\_\_\_機関・  
部課名 \_\_\_\_\_フリガナ  
氏 名 \_\_\_\_\_ 殿

Tel. \_\_\_\_\_ (ex. \_\_\_\_\_) FAX \_\_\_\_\_

## 「第4回 コンピュータシステムシンポジウム」開催について

標記シンポジウムを下記の要領で開催いたします。本シンポジウムでは、並列 OS、分散 OS、OS 構成法など、現在の OS 研究において、最もアクティブな分野の発表を多数予定しています。また、OS に何が求められているかについて、一般講演のほか、チュートリアル講演やパネルなどによって活発な議論を行いたいと考えています。国内の関連分野の研究者が一同に会するこの機会に、奮ってご参加くださいますよう、お願いいたします。

日 時 平成4年10月27日(火) 9:30~17:40

28日(水) 9:30~16:00

場 所 工学院大学大講堂(312号)

新宿区西新宿 1-24-2(新宿駅西口徒歩5分)

参加費 情報処理学会オペレーティング・システム研究会会員 16,000 円

その他の情報処理学会会員 17,000 円, 非会員 25,000 円, 学生 5,000 円

(懇親会費および論文集代を含む)

論文集のみ 5,000 円(送料を含む)

申込締切 平成4年10月6日(火)

申込先 情報処理学会 シンポジウム係

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3F

Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

### ~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

第1日 10月27日(火)

基調講演(9:30~10:30)

司会 田胡 和哉(日本IBM)

鈴木 則久(日本IBM)

- マルチメディアに関するシステムの研究

一般講演(10:30~12:00) 分散処理

座長 清水謙多郎(電通大)

- A Simulation Study of Static and Adaptive Load Balancing Strategies in Heterogeneous Distributed Computer Systems 張 勇兵, 亀田 壽夫, 清水謙多郎(電通大)
- 高速な通信媒体のための通信機構 根岸 康, 干場美佳子, 田胡 和哉(日本IBM)
- ヘテロ環境をサポートする分散処理 OS の構築 箱守 聰, 白渕 啓明, 谷口 秀夫(NTT データ通信)

——昼食(12:00~13:00)——

チュートリアル講演(13:00~14:00)

司会 清木 康(筑波大)

- シームレスな協調メディアのデザイン

石井 裕(NTT)

一般講演(14:00~15:00) 技術統合

座長 並木美太郎(農工大)

- 手書きインタフェースを支援する OS OS/omicon 第4版の構成

早川 栄一, 並木美太郎, 高橋 延匡(農工大)

- 研究者用計算機センター向きオペレーティング・システムに関する一考察

金沢 正憲(京大)

パネル討論(15:20~17:40)

- OS に何が求められているか?

司会 田胡 和哉(日本IBM)

パネリスト 平木 敬(東大)アーキテクチャ

松岡 聰(東大)プログラミング言語

清木 康(筑波大)データベース

石井 裕(NTT)ヒューマンインタフェース

未 定 オペレーティング・システム

懇親会(18:00~19:30, 発表会場と同棟の第1会議室)

第2日 10月28日(水)

チュートリアル講演(9:30~10:30)

司会 清水謙多郎(電通大)

- モバイル・コンピューティング

寺岡 文男(ソニーコンピュータサイエンス研究所)



一般講演 (10:30~12:00) 並列 OS

座長 加藤 和彦 (東大)

- 並列オペレーティング・システム K1 —マイクロカーネルの考察と設計—

桑山 雅行, 最所 圭三, 福田 晃 (九大)

- 共有メモリ型マルチプロセッサにおけるスケジューリング方式の評価 —プロセッサグループによる2レベルスケジューリング—

甲斐 久淳, 桑山 雅行, 最所 圭三, 福田 晃 (九大)

- SPARC プロセッサにおける高速コンテキスト切替え方式

酒井 浩 (東芝)

—昼食 (12:00~13:00)—

チュートリアル講演 (13:00~14:00)

司会 加藤 和彦 (東大)

- データベースとオペレーティング・システム

清木 康 (筑波大)

一般講演 (14:20~15:50) OS 構成法

座長 横手 靖彦 (ソニーコンピュータサイエンス研究所)

- Apertos における適応型オブジェクト管理

光澤 敦 (慶大), 横手 靖彦 (ソニーコンピュータサイエンス研究所), 所 真理雄 (慶大)

- 分散 OS XERO における分散共有格納庫について

加藤 和彦, 成田 篤信, 猪原 茂和, 坂田 尚也, 益田 隆司 (東大)

- 単一仮想記憶域を特徴とする 64 ビット・アドレス指向 OS

瀬川 英生, 野末 浩志, 申 承昊, 斉藤 光男, 高橋 俊成, 岡本 利夫, 前田 賢一 (東芝)

閉会の辞 (15:50~16:00)

鈴木 則久 (日本 IBM)

会  
告



「コンピュータシステムシンポジウム」

参加申込書

平成4年 月 日

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○でかこむ)

OS 研究会登録会員 16,000 円 正会員, 賛助会員 17,000 円 非会員 25,000 円  
学生会員 5,000 円

\* 参加費には, 資料代および懇親会費が含まれています。

○資料のみ (5,000 円, 送料込) \_\_\_\_\_冊

○送金方法 (該当するものを○でかこむ)

合計 \_\_\_\_\_円を

- a) 当日, 会場受付にて支払います。
- b) 現金書留で \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日送金します。
- c) 銀行振込 (いずれも普通預金口座) で

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 第一勧銀虎ノ門支店 1013945  | 4. 富士銀行虎ノ門支店 993632   |
| 2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608 | 5. さくら銀行東京営業部 4298739 |
| 3. 住友銀行東京公務部 10899    | 6. 三和銀行東京公務部 21409    |

名義人 東京都港区麻布台 2-4-2 社団法人 情報処理学会

・送金人名義 \_\_\_\_\_様

\* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 \_\_\_\_\_

注) 申込書は1枚1人としてください。(コピーで申し込むこと)

○申込先・送金先 (FAX も可)

情報処理学会 シンポジウム係 106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル 3F  
Tel. 03 (3505) 0505 FAX 03 (3584) 7925

(楷書でハッキリ記入してください)

申込者  
連絡先 〒 \_\_\_\_\_

機関・  
部課名 \_\_\_\_\_

フリガナ  
氏 名 \_\_\_\_\_ 殿

Tel. \_\_\_\_\_ (ex. \_\_\_\_\_) FAX \_\_\_\_\_

CALL FOR PAPERS  
1993 年 並列処理シンポジウム  
*Joint Symposium on Parallel Processing 1993*

**JSPP'93**

早稲田大学総合学術情報センター国際会議場  
1993 年 5 月 17 日 (月)~19 日 (水)

21 世紀に向けた超並列処理について、研究発表および議論することを目的とした並列処理シンポジウム JSPP も、今回 5 回目を迎えることとなります。本シンポジウムは、単に並列処理に留まらず、分散、協調などの新しいテーマまで含んだ学際的な研究交流の場の一つとして、確立されてきております。今回は、アーキテクチャなどの分野に加えて、これまで以上に基礎論やソフトウェアおよび応用関連の分野についても、新しい成果の積極的な投稿を期待しております。是非、学際的な並列処理研究のなご一層の発展を目指して、多数ご応募下さるようお願い致します。

◇ テーマ 並列処理技術や応用

- 基礎理論、計算モデル、アルゴリズム
- オペレーティングシステム
- データベース
- 人工知能応用
- ニューロコンピューティング
- システム性能評価
- プログラミング言語、言語処理系
- アーキテクチャ
- 数値計算応用
- スーパーコンピューティング
- 光コンピューティング

◇ 発表申込方法

以下の要領にしたがって発表概要 (extended abstract) を 8 部 (両面コピーを歓迎します) と発表申込票を作成し、1992 年 12 月 4 日までに下記の申込先までお送り下さい。プログラム委員会において審査を行い、採録するかどうかを決定します。

● 発表概要

研究の技術的内容に加えて、研究の目的、重要性、新規性、他の研究との関連性を明らかにした発表概要を、題目と図表を含めて A4 版 4 枚以内にまとめて記載して下さい。また発表概要は無記名とし、日本語または英語で記述して下さい。なお、発表概要は必ず郵送して下さい。

● 発表申込票

事務処理簡素化のため、電子メールでの申込を歓迎します。申込票はネットニュース fj.meetings に定期的にポストされる論文募集に添付してあります。また、jspp93@kuis.kyoto-u.ac.jp 宛に電子メールを下されればフォーマットを返送します。なお電子メールでの申込の場合には発表概要送付の際に、発表者名と電子メールアドレスを記載した用紙を同封して下さい。

電子メールを利用できない方は、A4 版 1 枚に発表題目、発表者氏名 (共著者を含む) とその所属、3 個程度のキーワード、連絡先の氏名/所属/郵便番号/住所/電話番号/FAX 番号/電子メールアドレスを記載して、発表概要と共に送り下さい。

● 日程

1992 年 12 月 4 日 (金) 発表申込締切  
1993 年 1 月 29 日 (金) 審査結果通知  
1993 年 4 月 2 日 (金) カメラレディ原稿締切

● 発表申込先 (問合せ先)

〒606-01 京都市左京区吉田本町  
京都大学工学部情報工学教室  
中島 浩  
TEL: (075)753-5383  
FAX: (075)753-5379  
E-mail: jspp93@kuis.kyoto-u.ac.jp

- ◇ 主催 情報処理学会・計算機アーキテクチャ研究会  
同・データベース研究会  
同・オペレーティングシステム研究会  
同・アルゴリズム研究会  
同・プログラミング—言語・基礎・実践—研究会  
同・数値解析研究会  
電子情報通信学会・コンピュータシステム研究会
- ◇ 協賛 (依頼中) 日本ソフトウェア科学会、人工知能学会
- ◇ 実行委員会  
委員長 : 村岡 洋一  
副委員長: 小柳 義夫 (プログラム委員長), 島田 俊夫  
幹事 : 上田 和紀, 中島 浩, 村上 和彰

## 情報処理振興事業協会 (IPA) 技術センター 第 11 回 技術発表会のご案内

IPA 技術センターでは、各分野における専門家の方々のご協力のもとに先進的情報処理技術の研究開発をおこない、その成果につきまして毎年技術発表会を開催しご報告申し上げておりますが、本年は下記のとおり開催いたします。

**日 時** 平成 4 年 10 月 21 日 (水) 9:30~17:00  
**会 場** 明治記念館 (蓬莱の間, 鳳凰の間) 東京都港区赤坂 2-2-23  
**特別講演** 「ソフトウェアエンジニアリングの展望と期待」  
 戸田 徹 (富士通(株) 常務取締役)

**研究発表**

- |  |       |
|--|-------|
| ●分散環境におけるカード式仕様/設計記述法とジャストインタイム設計の試み       | 岡田 二郎 |
| ●ソフトウェア協調型設計過程のモデル化と知的支援方法                 | 古宮 誠一 |
| ●ソフトウェア開発環境におけるオブジェクトベース                   | 樋山 淳雄 |
| ●分散環境におけるプロセス認識とサービス提供のためのプロトコルの拡張         | 田中 啓介 |
| ●OSI 管理によるマルチプロトコルネットワーク管理のためのオブジェクト指向問題分析 | 北橋 雅子 |
| ●IPAL 名詞辞書の計画                              | 橋本三奈子 |
| ●Gries の導出法による Object-Z 仕様からのプログラム導出       | 宮崎比呂志 |

**パネルディスカッション** 「次世代プラットフォーム」(post-UNIX の世界)

- |     |       |                        |
|-----|-------|------------------------|
| 司 会 | 棟上 昭男 | 情報処理振興事業協会 理事          |
| パネラ | 徳田 英幸 | 慶應義塾大学/カーネギーメロン大学 助教授  |
|     | 塚本 享治 | 電子技術総合研究所 分散システム研究室長   |
|     | 鈴木 則久 | 日本アイ・ビー・エム(株) 基礎研究所 所長 |
|     | 芳賀 博英 | (株)日立製作所 システム開発研究所 研究員 |

- デモンストレーション**
- 業務用ソフトウェアのカスタマイザ
  - 分散環境用プロセス間通信プロトコル

**参加費** 6,000 円 (税込み)

**申込方法** (先着 350 名)

「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、10 月 9 日 (金) までに到着するようお送りください (FAX 可)。申込書が届き次第、参加券と振込票をお送りしますので、この振込票で参加費を 10 月 15 日 (木) までにお振込みください。

**連絡先** 105 東京都港区芝公園 3-1-38 情報処理振興事業協会 技術センター 企画室  
 Tel. 03 (3437) 2301 FAX 03 (3437) 5386

「IPA 技術センター 第 11 回 技術発表会」参加申込書

会社・団体名	所在地 〒	連絡先電話番号
参加者 氏名	所属・役職名	
申込みの担当者		

必要書類 (請求書 \_\_\_ 通, 納品書 \_\_\_ 通, 見積書 \_\_\_ 通)

# 3RD INTERNATIONAL CONFERENCE FOR YOUNG COMPUTER SCIENTISTS

## FIRST ANNOUNCEMENT AND CALL FOR PAPERS

ICYCS '93

July 15-17, 1993, Beijing, China

DATE: July 15-17, 1993

LANGUAGE: English

PROGRAM: Technical sessions will include plenary lectures, oral and poster presentation sessions.  
The interest topics are as follows (but not limited to).

- Artificial Intelligence & Knowledge Engineering
- CAD, CAE, CAI & CIM
- Architecture & New Generation Computer
- Computer Graphics
- Computer Vision & Robotics
- Pattern Recognition & Image Processing
- Artificial Neural Networks
- Database
- Network & Distributed Processing
- Software Engineering & Tools
- Foundation of Computer Science

### PAPER SUBMISSION:

Three copies of original work, not published elsewhere, from computer professionals under 40, should be submitted before Oct. 1, 1992 to

Dr. Wen Gao  
P. O. Box 320  
Harbin Inst. of Tech.  
Harbin, 15006, China  
Fax: +86-451-228393  
Tel: +86-451-321000 Ext. 3330

Dr. Jianping Wu  
Dept. of computer Science  
Tsinghua University  
Beijing 100084, China  
Tel: 2561144 Ext. 2255

### ICYCS '93

Dr. Yamin Li  
Dept. of computer Science  
Tsinghua University  
Beijing 100084, China

Title: (Prof/Dr/Mr/Mrs/Ms) \_\_\_\_\_

Name: \_\_\_\_\_

Affiliation: \_\_\_\_\_

Address: \_\_\_\_\_

Tel.: \_\_\_\_\_ Fax: \_\_\_\_\_ Tlx: \_\_\_\_\_

please attach name  
  
card here, if any.

Please mark the appropriate box:

- I would like to participate as
- a delegate
- a paper presenter
- Please place me on your mail list

会  
告

## 支部だより

### 東海支部 講演会

**日時** 平成4年9月25日(金) 13:00~16:00  
**場所** 愛知電機(株)(愛知県春日井市愛知町1)  
 交通: JR 中央線 勝川駅下車, 徒歩15分  
**演題** 最近の電界解析と CAE 技術 大久保 仁(名大)  
**参加費** 無料(参加資格は問いません)  
**問合せ先** 460 名古屋市中区錦 2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内  
 情報処理学会東海支部事務局 Tel. 052 (204) 4517

### 講演会

**日時** 平成4年10月9日(金) 11:00~12:35  
**場所** 豊橋技術科学大学講義棟 A1-201 (豊橋市天伯町字雀ヶ丘 1-1)  
**演題** 脳機能の解明をめざして 淀川 英司(エイ・テイ・アール視聴覚機構研究所)  
**参加費** 無料(参加資格は問いません)  
**問合せ先** 460 名古屋市中区錦 2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内  
 情報処理学会東海支部事務局 Tel. 052(204) 4517

### 講演会

**日時** 平成4年10月13日(火) 10:00~11:30  
**場所** 日本電装(株)本社厚生センター 4階大ホール (愛知県刈谷市昭和町 1-1)  
 交通: JR 東海道線 刈谷駅下車, 北口から徒歩10分  
**演題** 産業構造を変革する先端技術 月尾 嘉男(東大)  
**参加費** 無料(参加資格は問いません)  
**問合せ先** 460 名古屋市中区錦 2-17-21 NTT DATA 東銀ビル NTT データ通信(株)東海支社内  
 情報処理学会東海支部事務局 Tel. 052 (204) 4517

### 支部大会案内—平成4年度電気関係学会東海支部連合大会

**期日** 平成4年10月16日(金), 17日(土)  
**会場** 名古屋工業大学(名古屋市中区御器所町)  
**特別講演** H-II ロケットの開発 (16日16:00~17:30) 山崎 勲(三菱重工業)  
**シンポジウム** (依頼講演)  
 環境電磁工学における最近の話題 (16日 9:00~12:00) 座長 池田 哲夫(名工大)  
 マイクロマシンの現状と動向 (17日9:00~12:00) 座長 大熊 繁(名大)  
 移動体通信におけるアンテナ技術の諸問題 (17日 13:00~17:00) 座長 稲垣 直樹(名工大)  
 21世紀における映像通信サービスのビジョン (16日 9:00~12:00) 座長 谷本 正幸(名大)  
 超高性能コンピュータとダウンサイジング (17日 9:00~12:00) 座長 曾和 将容(名工大)  
 —RISC, スーパーカ、UNIX, LAN, 並列協調分散処理—  
 Softer Software を目指して (17日 13:00~15:00) 座長 阿草 清滋(名大)  
**一般参加費** 講演者以外の方は, 参加費(正員 700円, 准員 300円, 会員外 1,000円, 学生無料)を当日受付で  
 支払い, 参加章を受け取る。ただし, 論文集購入者は参加費不要。  
**懇親会** 16日(金) 18:00~19:30 浩養園 参加費 一般 4,000円 学生 2,000円  
 参加者は, 当日大会受付で参加費を添えて申込むこと。  
**問合せ先** 464-01 名古屋市中区千種区不老町 名古屋大学工学部電気系教室内  
 電気関係学会東海支部連合大会実行委員会 Tel. 052 (781) 2222

## 支部だより

### 北陸支部 講演会

日時 平成4年9月25日(金) 14:30~16:00  
 場所 金沢工業大学5号館5.101室(石川県石川郡野々市扇が丘7-1)  
 演題 ロボットビジョンの研究動向と今後の課題  
 参加費 無料(参加資格は問いません)  
 問合せ先 923-11 石川県能美郡辰口町旭台15  
 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科内  
 情報処理学会北陸支部事務局 Tel. 0761(51)1265 堀口 進

谷内田正彦(阪大)

### 支部大会案内—平成4年度電気関係学会北陸支部連合大会

期日 平成4年10月2日(金), 3日(土)  
 2日 9:00 から一般講演, 15:30 から特別講演, 18:00 から懇親会  
 3日 9:00 から一般講演

会場 福井工業高等専門学校  
 プログラム, 論文集は当日受付にて販売。1部2,000円, 参加費は無料

特別講演 情報の基礎科学は何か—21世紀の科学・技術に向けて—  
 一般講演 件数未定(含6招待講演)

坂井 利之(龍谷大)

発表部門 A部門 電力, 電気機器, 照明, プラズマ  
 B部門 回路システム, 制御, コンピュータ, 情報処理, 医用電子  
 C部門 電気通信, レーザ  
 D部門 電子材料, デバイス, 光エレクトロニクス

問合せ先 916 鯖江市下司町 福井工業高等専門学校電気工学科内  
 電気関係学会北陸支部連合大会実行委員会 Tel. 0778(62)1111(内384, 388, 403)

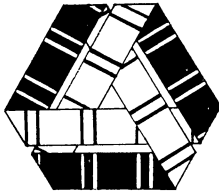
### 講演会

日時 平成4年10月23日(金) 13:30~15:00  
 場所 福井大学工学部会議室  
 演題 並列記号処理マシンアーキテクチャの動向  
 参加費 無料(参加資格は問いません)  
 問合せ先 923-11 石川県能美郡辰口町旭台15

柴山 潔(京都工芸繊維大)

北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科内  
 情報処理学会北陸支部事務局 Tel. 0761(51)1265 堀口 進

会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（\*：本年既掲載分，\*\*：昨年既掲載分）。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手 72 円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。）

1. 開催日, 2. 場所, 3. 連絡, 問合せ先, 4. その他

国際会議

**Compsec 92—The 9th World Conf. on Computer Security, Audit and Control (065)**

- November 4, 1992
- Westminster, London, UK
- Kay Russell  
Conference Department  
Elsevier Advanced Technology  
Mayfield House  
256 Banbury Road  
Oxford OX2 7DH, UK  
Tel. +44 (0) 865 512242,  
FAX +44 (0) 865 310981

**ICICIS—93—1st Int'l. Conf. on Intelligent and Cooperative Information Systems (066)**

- May 12-14, 1993
- The Netherlands
- Mike Papazoglou  
QUT School of Information Systems, Faculty of Information Technology, GPO Box 2434, Brisbane QLD 4001, Australia  
Phone. (07) 864-2111, FAX (07) 864-1969
- Papers submissions due: October 19, 1992

国内会議

**第 15 回 科学講演会**

- 平成 4 年 10 月 2 日 (金)
- 経団連会館 (東京都千代田区大手町)
- 理化学研究所 開発調査室  
Tel. 048 (462) 1111 (内 2742~3)
- 入場無料

**Mathematica conf. Tokyo**

- 1992 年 10 月 17 日 (土)
- 日本教育会館 (東京都千代田区神田一ツ橋)
- 主催: ウルフラム・リサーチ (株)  
問合せ先: (株)サイエンティスト社 大野 満夫  
Tel. 03 (3253) 8992, FAX 03 (3255) 6847
- 参加料: 無料

**第 2 回 電気通信フロンティア研究開発成果報告会**

- 平成 4 年 10 月 19 日 (月)
- 東京 YMCA ホテル (千代田区神田美土代町)
- (財)テレコム先端技術研究支援センター  
Tel. 03 (3597) 8188
- 参加費: 無料

**ALT '92—第 3 回 計算論的学習理論ワークショップ**

- 1992 年 10 月 20 日 (火)~22 日 (木)
- CSK 情報教育センター (東京都多摩市)
- (社)人工知能学会 ALT '92 係  
Tel. 03 (5261) 3401, FAX 03 (5261) 3402
- 参加費 会員 20,000 円, 非会員 25,000 円, 学生 10,000 円

**第 35 回 標準化全国大会**

- 平成 4 年 10 月 20 日 (火)~22 日 (木)
- JA ホール
- (財)日本規格協会 Tel. 03 (3583) 8001
- 参加料: 15,450 円

**第 1 次組織・人材・環境から見た技術系管理者育成の研究会**

- 1992 年 10 月 27 日 (火), 11 月 19 日 (木), 12 月 8 日 (火), 1993 年 1 月 19 日 (火), 2 月 9 日 (火), 3 月 16 日 (火)
- 芝パークホテル (東京都港区芝公園)
- (社)日本能率協会 JMA マネジメントスクール事務局  
Tel. 03 (3434) 6271, FAX 03 (3434) 4065
- 参加料: 150,000 円 (6 回), 31,000 円 (各月)

**PS JAPAN—第 2 次スイッチング電源テクニカルフォーラム**

- 1992 年 10 月 28 日 (水), 11 月 19 日 (木), 12 月 10 日 (木), 1 月 21 日 (木), 2 月 12 日 (金)
- 芝パークホテル (東京都港区芝公園)
- (社)日本能率協会 JMA マネジメントスクール事務局  
Tel. 03 (3434) 6271, FAX 03 (3434) 4065
- 参加料: 140,000 円 (5 回), 35,000 円 (各月)

**第 18 回 Japan SIGAda**

- 1992 年 10 月 30 日 (金)
- 日本ユニシス (株)教育センター (渋谷東邦生命ビル 23 階)
- Japan SIGAda 運営委員会 田中 清  
Tel. 03 (3740) 5719

**PACS 研究会「PACS のテクノロジーアセスメント」**

- 平成 4 年 11 月 4 日 (水)
- 虎ノ門パストラル (東京都港区)
- 日本学術会議事務局 Tel. 03 (3403) 6291



**'92 センシング技術応用セミナー、'92 センサ & アクチュエータフォーラム「最先端画像計測セミナー」**

1. 平成4年11月13日(金)
2. インテックス大阪(大阪市住之江区)
3. 大阪府立産業技術総合研究所内(社)大阪府技術協会  
Tel. 06(443)1332
4. 参加費: 会員20,000円, 一般25,000円, 学生10,000円

**第18回 国際会議のための準備セミナー—英語によるプレゼンテーションの実際—**

1. 1992年11月15日(日)~16日(月)
2. 海外職業訓練センター研修施設(千葉県美浜区ひび野)
3. (社)日本工学会  
Tel. 03(3475)4621・5618, FAX 03(3403)1738
4. 参加費: 80,000円

**講習会「快適さを実現するファジィ理論—モノづくりの心—」**

1. 1992年11月19日(木)
2. 日刊工業新聞社(名古屋支社)
3. 日本ファジィ学会  
Tel. 045(212)8253, FAX 045(212)8256
4. 参加費: 会員15,000円, 非会員25,000円, 学生8,000円

**システム制御情報チュートリアル講座 '92「H<sup>∞</sup>制御の新しい展開と応用の実際」**

1. 2. <大阪> 1992年11月25日(水)~27日(金)  
三田出版会(大阪市北区中崎西)

(東京) 1992年12月2日(水)~4日(金)  
ダイヤモンド社(千代田区霞が関)

3. システム制御情報学会チュートリアル講座係  
Tel. 075(751)6413, FAX 075(751)6037
4. 聴講料(全日): 会員45,000円, 学生20,000円, 非会員60,000円

**PS JAPAN 93—第8回 '93 スイッチング電源システム展—**

**EMC JAPAN 93—第6回 EMC・ノイズ対策技術展—  
Board Computer 93—第5回 ボード・コンピュータ'93—**

1. 1993年2月24日(水)~26日(金)
2. サンシャインシティコンベンションセンター TOKYO(東京・池袋)
3. (社)日本能率協会 コンベンション振興本部内  
Tel. 03(3434)1233, FAX 03(3434)1836

**第32回 日本 ME 学会大会**

1. 平成5年5月19日(水)~21日(金)
2. 山梨県民文化ホール, シティアラザ紫玉苑(甲府市)
3. 山梨医科大学第二内科 第32回日本 ME 学会大会事務局  
Tel. 0552(73)1111(内2310), FAX 0552(73)6749

**教官募集**



○大学等情報関係教官募集

**北星学園大学経済学部**

募集人員 教授・助教授または講師1名  
担当科目 経営情報論および経営学総論または経営情報論  
および経営モデル分析  
採用予定 平成5年4月1日  
提出書類 履歴書, 研究業績書, 健康診断書, 推薦状, 著書・論文(コピーでも可)  
応募締切 平成4年9月30日  
選考方法 書類審査および面接をもって採用の可否を決定する。  
送付先 004 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号  
北星学園大学経済学部長 原田和幸  
問合せ先 北星学園大学学部事務局  
011(891)2731(代)  
「応募書類在中」と朱書き, 書留。

**東海大学工学部経営工学科**

募集人員 助教授または講師2名  
担当科目 情報処理, コンピュータ言語, ソフトウェア工学(1名), 品質管理, 実験計画, 統計学(1名).  
専門分野 経営工学  
応募資格 博士の学位を有する者, あるいは近い将来取得できる者.  
着任時期 平成5年4月1日  
提出書類 履歴書, 研究業績リストおよび主要著書および主要論文(別刷コピーでも可).  
応募締切 平成4年10月15日  
送付先 259-12 平塚市北金目1117  
東海大学工学部長 田中俊六  
問合せ先 東海大学工学部経営工学科事務局  
Tel. 0463(58)1211(内4471)  
FAX 0463(59)4162

**熊本女子大学**

<平成6年4月に「熊本県立大学」に名称変更予定>  
募集人員 3名  
所属 社会科学部(仮称, 平成6年4月設置を目標に準備中)  
専門分野 情報処理  
応募資格 (1)平成6年3月31日現在の年齢が61歳以下(昭和7年4月1日以降生まれ), (2)修士の学位を有する者またはこれと同等以上の学識および経験を有する者.  
着任時期 平成6年4月(ただし, 授業科目の開設年次によっては, 平成8年4月までの間で就任可)

提出書類 履歴書, 研究業績書  
 応募締切 平成4年10月30日  
 送付先 862 熊本市水前寺6丁目18-1  
 熊本県総務部私学文書課プロジェクト班  
 問合せ先 Tel. (熊本県庁代表) 096 (383) 1111  
 (内 3217, 3218)

#### 九州工業大学情報工学部電子情報工学科

募集人員 助教授1名  
 担当科目 ソフトウェア工学, オペレーティングシステム,  
 オートマトン理論, 計算機アーキテクチャのい  
 られかを担当できる情報処理を専門とする者。なお  
 LSI の設計を研究対象とし, 学生の教育・研究の  
 指導ができることが望ましいがこの限りではない。  
 応募資格 博士の学位を有する者(または近く取得見込み)  
 で, 年齢35歳以下が望ましい。  
 着任時期 決定後できるだけ早い時期  
 提出書類 履歴書, 業績リスト, 主要論文の別刷り(5編程  
 度), 現在までの研究概要と将来の抱負, 所見を求  
 め得る方2名の氏名(連絡先, 電話番号), 健康診  
 断書。  
 応募締切 平成4年10月30日  
 送付先 820 飯塚市川津 680-4  
 問合せ先 九州工業大学情報工学部電子情報工学教室  
 金藤敬一または小寺信夫  
 Tel. 0948 (29) 7664 または 7668(ダイヤルイン)  
 「応募書類在中」と朱書き, 書留。

#### 静岡理工科大学知能情報工学科

募集人員 教授1名  
 担当科目 情報数学, システム数学, 信頼性理論など  
 専門分野 システム科学  
 応募資格 博士の学位を有し, 上記の分野で顕著な研究業績  
 および教職歴のある者。  
 着任時期 平成5年4月1日希望  
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文の別刷  
 応募締切 平成4年10月31日  
 送付先 437 袋井市豊沢 2200-2  
 静岡理工科大学理工学部長 河合 望  
 Tel. 0538 (45) 0111  
 問合せ先 知能情報科学科長 三浦 甫  
 Tel. 0538 (45) 0201

#### 名古屋文理短期大学情報処理学科

募集人員 助手, 講師, 助教授, または教授1~2名  
 専門分野 ソフトウェア科学等情報処理関連分野  
 応募資格 大学院修士課程修了または同等以上の教育, 研究  
 歴のある者。経歴, 業績により上記ポストをき  
 める。  
 着任時期 平成5年4月1日  
 提出書類 履歴書, 研究業績および社会における活動等のリ  
 スト, 研究論文別刷, 教育に関する所見(原稿用  
 紙5枚程度)。  
 応募締切 平成4年11月15日  
 送付先 492 稲沢市稲沢町前田 365  
 問合せ先 名古屋文理短期大学総務課  
 Tel. 0587 (23) 2400

#### 東京工芸大学工学部画像工学科

募集人員 講師または助手1名  
 専門分野 電子画像(主としてハード)およびその周辺分野。

応募資格 博士の学位を有するか取得可能な者で, 年齢30歳  
 前後  
 着任時期 平成5年4月1日  
 提出書類 履歴書, 研究業績一覧表, 主要論文別刷(コピー  
 可)  
 応募締切 平成4年11月15日  
 送付先 243-02 厚木市飯山 1583  
 問合せ先 東京工芸大学工学部画像工学科主任 羽生慎侍  
 Tel. 0462 (41) 0454 (内 118)  
 FAX 0462 (42) 3000

#### 小樽商科大学商学部社会情報工学科

募集人数 助教授または講師1名  
 専門分野 システムセキュリティ, システム監査等の関連分野  
 担当科目 システムセキュリティ論(コンピュータプログラ  
 ミング関連科目も担当できることが望ましい)。  
 応募資格 大学院博士課程修了者もしくはそれと同等以上の  
 研究業績のある者。  
 着任時期 平成5年4月1日  
 提出書類 履歴書, 教育研究業績表, 主要論文等の別刷り(コ  
 ピー可), 学部・大学院の卒業および修了証明書並  
 びに成績証明書等。  
 応募締切 平成4年11月27日  
 送付先 047 小樽市緑 3-5-21  
 問合せ先 小樽商科大学学長  
 庶務課人係 Tel. 0134 (23) 1101  
 FAX 0134 (22) 0467  
 一部提出書類には本学の様式がありますので,  
 お問合せください。  
 「システムセキュリティ論担当教官応募書類」と  
 朱書き, 書留。

#### 茨城大学工学部システム工学科

募集人員 助教授1名  
 所属 設計生産システム講座: 生産加工学, 生産システ  
 ム, CAD/CAM/CAE のいずれかの分野で, 計算  
 機応用, 人工知能に精通した者が望ましい。なお,  
 専門分野 夜間Bコースの授業も1科目程度担当。  
 応募資格 35歳以下で, 博士の学位を有する者。  
 着任時期 平成5年4月1日  
 提出書類 履歴書, 業績リスト(著書, 論文等), 主要論文の  
 別刷またはコピー各1部。  
 応募締切 平成4年11月30日  
 送付先 316 日立市中成沢町 4-12-1  
 問合せ先 茨城大学工学部システム工学科主任教授 佐々木豊  
 Tel. 0294 (35) 6101 (内 453)  
 FAX 0294 (32) 1546  
 書類は郵送(書留)でお願いします。

#### 宇都宮大学工学部情報工学科

募集人員 工学部情報工学科  
 A. 教授(あるいは助教授)1名, B. 教授(あるいは  
 助教授)1名。  
 専門分野 A. 情報数理論の所属となる, B. 情報処理講座の  
 所属となる。  
 着任時期 平成5年4月1日  
 応募締切 平成4年11月末日(適任者が見つかり次第締め切  
 ることがある)。  
 問合せ先 宇都宮大学工学部情報工学科主任 鎌田一雄  
 Tel. 0286 (61) 3401 (内 701)  
 Tel./FAX 0286 (89) 0721 (直)

## 雑報



### ○(財)京都高度技術研究所—新産学交流事業 (EAGL) 協力研究者募集

当機構(会長 大野豊)は、ソフトウェア要素技術および関連する科学技術の分野に関する研究に対する研究助成を主な目

的として、平成3年7月に発足し、(財)京都高度技術研究所の一事業として活動しています。当機構の趣旨に賛同し、当機構の求める研究テーマに関わる研究開発を行う大学の研究者を募集しております。ご希望の方は詳細を下記事務局までお問い合わせのうえご応募ください。

**援助対象** ソフトウェア要素技術および関連する科学技術  
**応募締切** 平成4年10月31日  
**問合せ先** 600 京都市下京区中堂寺南町17 京都リサーチパーク  
 (財)京都高度技術研究所 EAGL 事業推進機構 事務局  
 Tel. 075 (315) 8653 FAX 075 (315) 2897

## 編集室



### 事務局だより

情報処理関連業界を含め、わが国の経済情勢は非常に厳しい状態にあり、解決策を見出すことも困難な状況で、一時も早く不況を脱出することが望まれています。

このような状況の中、学会の会員数は7月20日現在で、正会員31,278名、学生会員715名、賛助会員547社と年度初めから横這いではありますが、マイナス成長は免れております。これは会員の方々の学会活動に対する熱意とご支援の賜物と感謝いたしております。

しかしながら、このように厳しい状況のときこそ、将来のため学会活動の充実と活性化をはかるべきと考え、会員の皆さま方へ新会員の入会促進と学会活動への積極的な参加をお願いする次第です。

学会事務局(本部:会員,編集,研究会,事業,国際,総務・経理)の移転ですが、現在地の保科ビル(港区麻布台,1986年6月から入居)で10月2日(金)まで事務

取扱いを行い、10月3日から4日に次の場所

160 東京都西新宿一丁目24番1号  
 エステック情報ビル27階

社団法人 情報処理学会

TEL 03 (5322) 3535 (代表)

FAX 03 (5322) 3534

へ移転し、新事務所のオープンを10月5日(月)とする準備作業を進めております。なお、情報規格調査会(規格部)は、現在地の機械振興会館で従来どおり活動いたします。

新事務所は、新宿駅西口から京王プラザホテルへ出る地下道を徒歩約5分の工学院大学とのツインビルで、手前が新宿郵便局、先が京王プラザホテルという地理的条件に恵まれた所にあります。また、事務所内に会議室を、20名使用なら3室または、20名と40名使用なら2室として利用できるように確保しておりますので、学会活動の各種会議等には是非ご利用ください。特に昼間帯は利用者が少ないと思われるので、ご利用をお勧めします。その他、研究発表会、シンポジウム等の会場については、工学院大学をお願いして順次確保していく計画となっております。

職住接近のように、学会活動の場と事務局が近くなりますので、事務局としても会員サービスの向上が図れるものと期待しております。

会員の皆さま方のご来局をお待ちしております。

(1992.8.25 飯塚浩司)

平成4年度役員

会 長 萩原 宏  
 副 会 長 小林 亮 相磯 秀夫  
 先 任 理 事 大野 尙郎 斎藤 信男 佐藤 繁  
 鶴保 征城 勅使河原可海  
 春名 公一 松下 温 村岡 洋一  
 後 任 理 事 磯崎 澄 稲垣 康善 齊藤 忠夫  
 土居 範久 箱崎 勝也 八賀 明  
 林 弘 坂 和磨 松永 伍生  
 監 事 山田 郁夫 竹下 亨  
 支 部 長 手塚塚一(関西), 奈良 久(東北)  
 大槻説乎(九州), 山田 博(東海)  
 伊達 惇(北海道), 磯道義典(中国)  
 島田良作(四国), 木村正行(北陸)

澤井 秀文 杉本 重雄 杉山 健司  
 宝木 和夫 田中 哲男 田中 衛  
 辻 秀一 鶴岡 邦敏 富井 規雄  
 富安信一郎 中野 潔 沼尾 雅之  
 馬場 健 広瀬 正 深海 悟  
 古屋 清 宮本 義昭 森田 啓義  
 横矢 直和 吉野 利明

文献ニュース小委員会

委 員 長 岩野 和生  
 副 委 員 長 本多 弘樹  
 委 員 浦本 直彦 大輪 勤 小川 知也  
 \*地方在住委員 小野寺民也 甲斐 宗徳 小林 隆  
 鈴木 卓治 田中みどり 谷 聖一  
 堤 富士雄 坪井 俊明 鳥谷 憲司  
 中島 巳範 野尻 徹 野村 真吾  
 林 良彦 平澤 茂樹 広田源太郎  
 藤代 一成 堀川 隆一 松本 一教  
 宮内 美樹 山口 義一 山下 義行  
 李 相喆 渡辺 美樹 \*佐伯 慎一  
 \*炭田 昌人 \*垂水 浩幸 \*竹澤 寿幸  
 \*乃万 司 \*藤井 茂樹 \*村上 昌己  
 \*横田 治夫 \*渡部 卓雄

学会誌編集委員会

委 員 長 松下 温  
 副 委 員 長 箱崎 勝也  
 委 員 (基礎・理論分野)  
 西野 哲朗 長尾 確 相田 仁  
 相場 亮 井宮 淳 岩野 和生  
 上田 和紀 宇田川佳久 大石 進一  
 太田 和夫 大竹 和雄 大野 和彦  
 栗田多喜夫 榊原 康文 篠原 靖志  
 島津 明 築添 明 土田 賢省  
 手塚 集 東条 敏 沼尾 正行  
 平川 秀樹 宮本 定明 村上 昌己  
 横内 寛文 渡辺 俊典  
 (ソフトウェア分野)  
 川越 恭二 坂下 善彦 石川 博  
 岩崎 英哉 岩澤 京子 内平 直志  
 大澤 暁 岡田 康治 小野 論  
 上林 憲行 北川 博之 小山田正史  
 関 俊文 瀧口 伸雄 瀧塚 孝志  
 田胡 和哉 谷口 秀夫 寺田 実  
 遠山 元道 深澤 良彰 本多 弘樹  
 松田 裕幸 真鍋 義文 宮崎 聡  
 吉田 和幸  
 (ハードウェア分野)  
 笠原 博徳 中田登志之 天野 英晴  
 飯島 純一 板野 肯三 伊藤 徳義  
 今井 明 小倉 敏彦 北沢 寛徳  
 北嶋 弘行 久門 耕一 黒川 恭一  
 小池 汎平 斎藤 光男 榊 博史  
 佐藤 政生 佐藤洋一郎 白男川幸郎  
 曾和 将容 瀧 和郎 中村 宏  
 長井 光晴 西田 健次 速水 治夫  
 原田武之助 平田 圭二 藤田 昌宏  
 吉岡 善一 米田 友洋 和田 耕一  
 (アプリケーション分野)  
 宮崎 収兄 金子 俊一 稲岡 則子  
 上杉 利明 江原 暉将 大蔭 和仁  
 大山 敬三 岡田 謙一 勝岡 義博

論文誌編集委員会

委 員 長 村岡 洋一  
 副 委 員 長 土居 範久  
 委 員 有川 節夫 石畑 清 伊藤 潔  
 岩間 一雄 魚田 勝臣 浮田 輝彦  
 大岩 元 大田 友一 勝野 裕文  
 菅 隆志 小池 誠彦 島崎 真昭  
 白井 良明 白鳥 則郎 杉原 正顕  
 高橋 延匡 田中 讓 徳田 雄洋  
 富田 眞治 永田 守男 日高 達  
 益田 隆司 三浦 孝夫 三井 斌友  
 毛利 友治 山下 正秀 吉原 郁夫

欧文誌編集委員会

委 員 長 佐藤 繁  
 副 委 員 長 齊藤 忠夫  
 委 員 浅野正一郎 伊藤 貴康 鶴飼 正二  
 \*地方在住委員 奥乃 博 小柳 義夫 上村 務  
 \*アドバイザー・テクニカル・ライティング 喜連川 優 紀 一誠 黒須 正明  
 清水謙多郎 白井 英俊 近山 隆  
 築山 俊史 戸川 隼人 西関 隆夫  
 服部 彰 坂東 忠秋 伏見 信也  
 牧野 武則 松村 一夫 安村 通晃  
 山本 彰 米崎 直樹 \*阿江 忠  
 \*牛宮 真人 \*池田 克夫 \*稲垣 康善  
 \*牛島 和夫 \*翁長 健治 \*上林 弥彦  
 \*佐藤 雅彦 \*都倉 信樹 \*鳥居 宏次  
 \*鳥脇純一郎 \*宮本 衛市  
 \*M. J. マクドナルド \*F. M. キッシュ

会 告

# 情報処理学会機関誌原稿執筆案内

\* 1984年12月改訂  
1986年12月改訂  
1988年3月改訂  
1988年12月改訂  
1990年3月改訂  
1991年3月改訂  
1992年9月改訂

本学会は学会誌「情報処理」、論文誌「情報処理学会論文誌」の2種類の機関誌を発行している。学会誌「情報処理」は新しい技術動向をはじめとする種々の情報を掲載し、会員の知識の向上をはかるものであり、論文誌は会員の研究発表の場である。

本案内は学会機関誌の原稿執筆要領をまとめたものである。執筆上の手引きとして利用していただきたい。

## 1. 学会誌「情報処理」原稿執筆案内

### 1.1 学会誌の目的

学会誌「情報処理」は

- (1) 会員の知識の向上に資すること、
- (2) 本学会の活動を報告し、会員各位の学会活動への参画意識を高めていただくこと、
- (3) 会員の意見発表、討論、情報交換の場を提供すること、
- (4) 広く学会ニュース、各種情報の要約等を提供すること、

を目的としている。

とくに(1)の目的のために、つぎの方針で編集を行う。

- (a) 学会誌としてのレベル、および客観性を保ちながら、思い切り読みやすく分かりやすい記述を追求する。
- (b) 先進的分野、または特定分野の横断的な解説記事を企画し、対象となる読者層を明らかにして編集を行う。
- (c) 時宜にあった会員に興味のあるテーマをよりタイムリに掲載する。

### 1.2 記事種目

学会誌「情報処理」には前項の目的を達成するため、

**第1表**に示す記事種目を設けている。

記事種目には、学会誌編集委員会が依頼する依頼記事と**1.4項**に掲げた投稿記事がある。

### 1.3 特集号

分野を選び、その分野での新しい技術の動向を集中的に解説、展望した特集記事を掲載する。

### 1.4 投稿、提案のお願い

**1.2項**の各種目に対する会員各位の積極的な投稿、または取りあげるべきテーマの提案をお願いする。特に(8)技術報告、(9)論説、(10)寄書、(11)会員の声、

(12)談話室、(13)海外だよりへの活発な投稿をお願いしたい。

### 1.5 投稿、提案の手続

- (1) 投稿、提案者は原則として本学会員に限る。
- (2) 投稿に使用する原稿用紙
  - ① 原稿を手書きする場合は、本学会所定の原稿用紙を本学会事務局で購入すること。
  - ② 原稿をワープロ等で作成する場合は、A4判の用紙を使用し、字詰は22字×44行にすること。
- (3) 投稿、提案の種目(第1表参照)を明記すること。提案の場合は提案の趣旨を書き添えること。執筆候補者名を付記してもよい。
- (4) 投稿する原稿の体裁と書き方は、**1.9項**を参考とした書き方にしていきたい。ただし梗概は不要である。
- (5) 原稿用紙の購入先、原稿、提案の送付先、および問合せ先は次のとおりである。

10月4日まで:

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル  
(社)情報処理学会 編集係 Tel. 03 (3505) 0505  
FAX 03 (3584) 7925

10月5日以降:

160 東京都新宿区西新宿一丁目24番1号  
エステック情報ビル 27階  
(社)情報処理学会 編集係 Tel. 03 (5322) 3535  
FAX 03 (5322) 3534

### 1.6 投稿原稿、提案の取扱い

- (1) 投稿原稿は学会誌編集委員会で査読し、著者に照会して修正をしていただく場合がある。
- (2) 投稿、提案内容の採否については学会誌編集委員会が判断する。

## 1.7 依頼手続

- (1) 依頼記事については、学会誌編集委員会が依頼原稿の種目ごとに標題などを決定し執筆を依頼する。依頼ページ数はそのとき指定する。
- (2) 依頼した著者から承諾の返事があり、手書き原稿用紙が必要な場合には、これを送付する。
- (3) 依頼趣旨にそって執筆をしていただくため、執筆構想(目次案)ができた段階で著者と協議することがある。
- (4) 目次案、原稿の送付先、および問合せ先は 1.5 項(5)と同じである。

## 1.8 依頼原稿の取扱い

依頼原稿は学会誌編集委員会にて閲覧し、著者に照会して修正していただく場合がある。

## 1.9 原稿の体裁と書き方

原稿は、次の①～⑧をこの順に整える。各々別用紙に、必ず用紙を改めて書くこと。(①～⑧でオリジナル原稿一式とする)。

- ① 標 題：できるだけ簡潔に、かつ内容がよくわかるように決め、日英両文で書く。原稿の種別を標題の左肩に明記すること。
- ② 著者名・所属：氏名、所属を日英両文で書く。所属は、大学・学部・学科のように3項目で表記する。また、会員・非会員の別、著者連絡先(住所、電話番号、(内線)e-メール等。複数著者の場合は連絡担当者に\*印を付すこと)を用紙の下部に明記すること。
- ③ 本 文：不必要に長い記述を避け、要点を有効に伝えるように書くことが望ましい。結果を示す数式には文章による解釈を付記した方が読者には理解しやすい。なお、大見出しは2行どりをする。
- ④ 謝 辞：謝辞もできるだけ簡単なものとする。特定事項についての援助への謝辞は本文中または脚注で記載した方がよい。
- ⑤ 参考文献：内容に直接関係のある重要な文献には必ず言及すること。これら文献に関連のある本文中の箇所には、右肩に参考文献番号を書き、末尾にその文献をまとめて記述する(1.10 項参照)。
- ⑥ 付 録：長い数式の誘導の過程や、実験装置、計算機についての説明などの詳細が必要な場合、これを本文中に挿入すると論旨が不明瞭になるので、付録にする方がよい。
- ⑦ 図 (1.10 項参照) ⑧ 表 (1.10 項参照)

## 1.10 原稿執筆上の一般的注意事項

- (1) 専門用語については、簡単な用語説明を添付することが望ましい。また本文中に使用する記号には必ず説明をつける。

- (2) 参考文献は原則として、雑誌の場合には、著者、標題、雑誌名、巻、号、ページ、発行年を、単行本の場合には、著者、書名、ページ数、発行所、発行年を、この順にする。次の例を参照にされたい。

- 4) 山田太郎：偏微分方程式の数値解法、情報処理、Vol. 1, No. 1, pp. 6-10 (1960)。
- 5) Feldman, J. and Gries, D.: *Translator Writing System, Comm. ACM*, Vol. 11, No. 2, pp. 77-113 (1968)。
- 7) 大山一夫：電子計算機, p. 300, 情報出版, 東京 (1991)。
- 8) Wilkes, M. V.: *Time Sharing Computer Systems*, p. 200, McDonald, New York (1990)。

- (3) 図(モノクロ写真およびカラー写真を含む)および表には、図-1 および表-1 のような通し番号と名称を和文または英文でつける。

図は、刷上り寸法の2～3倍大にきれいに書き、文字、記号などは明瞭に記入する。図は本学会でトレースするので、鉛筆書きでもよいが、トレースしにくい図は避けていただきたい。

図、表のでき上り寸法と行数の換算は次のとおりである。

寸 法 (mm)	換算行数	手書き原稿相当枚数
A. 50×34	6 行	0.5 枚
B. 67×50	13 行	1 枚
C. 100×67	26 行	2 枚
D. 134×100	39 行	3.5 枚

- (4) 数字、ローマ字、ギリシャ文字、記号などはとくに明瞭に記載する。大文字・小文字、上つき・下つきの別、×(かける)とX(エックス)の別など。

- (5) 句読点は“.” および“,” を用い、それぞれ1画(1字分)を用いる。

- (6) 数式は印刷に便利よう注意する。文中に式を挿入する場合には  $a/b$ ,  $\exp(t/r)$  のような記法を用いる。

独立した数式は1行につき原稿用紙の2行または3行のスペースを取って書く。数式も文の一種であるから、原則として末尾に“,” または“.” を付す。ただし、プログラム言語の形式を利用する場合には、この限りではない。

- (7) 印刷すべき本文以外の指定や注意書きなどはすべて朱書する。

- (8) 原稿中にあとから文章、文字などを挿入する時は、挿入する文章や文字を欄外に明瞭にするし、かつ挿入する箇所を∨または∧(朱書)で示す。

第1表 学会誌「情報処理」の記事種目

記事種目	内 容	依頼記事	投稿記事	刷上り ページ数	総字数	手書き 原稿枚数	標 題	著者名 属
(1) 解 説	新しい技術の動向などについて一般の会員を対象として平易に解説したもの	○		8	15,100	53	和文および英文	和文および英文
(2) 講 座	定説となっている基礎的な問題について平易に系統的に解説したもの	○		10	19,100	67	"	"
(3) 展 望	新しい理論、技術などの展望を比較的専門の立場から論説したもの	○		8	15,100	53	"	"
(4) 報 告	総合的なプロジェクトや国内外の会議などの成果報告	○		6	11,400	40	"	"
(5) 講 演	本学会が主催した講演の要旨	○		6	11,400	40	"	"
(6) 座 談 会	学会誌編集委員会が企画した座談会の要約	○		8	15,100	53	"	"
(7) 巻 頭 言	本学会の会長や理事などの抱負、所感	○		1	1,900	6	和 文	和 文
(8) 技 術 報 告	会員が広く関心をもつ研究、開発などの報告	○	○	4	7,600	26	和文および英文	和文および英文
(9) 論 説	社会的な視野からみた情報処理に関する論説や主張	○	○	4	7,600	26	"	"
(10) 寄 書	情報処理に関する理論、技術、動向など会員が関心を持つ事項の論説や主張	○	○	4	7,600	26	"	"
(11) 会 員 の 声	本学会の活動および学会誌に対する会員からの意見	○		0.5	900	3	和文または英文	和文または英文
(12) 談 話 室	経験談、提案、批判、誌上討論など	○		2~4	3,800~7,600	13~26	"	"
(13) 海 外 だ よ り	在外者からの外国での研究状況などの報告	○		2	3,800	13	"	"
(14) 研 究 室 紹 介	大学、研究所などの研究活動の紹介	○	○	3	5,700	20	"	"
(15) 書 評	文献ニュース小委員会が選定した図書を紹介および批評	○		1	1,900	6	"	"
(16) 文 献 翻 訳	" 海外文献の翻訳	○		8	15,100	53	"	"
(17) 文 献 紹 介	" 海外文献の概要紹介	○		1	1,900	6	"	"
(18) ニ ュ ー ス	" ニュース	○		0.5	900	3	"	"
(19) 論 文 誌 アブストラクト	論文誌に掲載された論文、ショートノートの和文または英文アブストラクト	○		0.3	900	2	和文および英文	和文および英文
(20) 研 究 会 報 告	各研究会、研究委員会の報告	○		3	5,700	20	和文または英文	和文または英文
(21) 情 報 規 格 調 査 会 報 告	情報規格調査会の活動報告	○		8	15,100	53	和 文	和 文
(22) 情 報 技 術 標 準 化 の ペ ー ジ	情報技術に関する国際標準化の進展状況報告			1	1,900	6	英 文	和文および英文
(23) 国 際 活 動 の ペ ー ジ	国際活動に関する国内外の活動状況の報告	○		1	1,900	6	和文または英文	和文または英文
(24) 会 議 案 内	関連国内外の会議の予告、カレンダー、論文募集など			0.5	900	3	"	"
(25) 本 会 記 事	理事会、各種委員会の報告、大会、総会、支部だよりなど			1	1,900	6	和 文	和 文
(26) 会 告	学会からのお知らせ、行事案内						"	"
(27) 事 務 局 だ よ り				0.5	900	3	"	"

\* タイトル、図表などすべてを含めた原稿用紙の枚数

ワープロ原稿用紙 (22 字×44 行=968 字)

手書き原稿用紙 (22 字×13 行=286 字)

(9) 脚注は、\*, \*\*, \*\*\* などの記号で示し、本文中そのすぐ下に横線ではさんで記入し、脚注と朱書する。

(10) 文中の記号で太字を使用の場合は、その記号の下に~を朱書し、イタリック (斜体) 使用の場合はその文字の下に朱書で一と指定する。

(11) 用語は原則として「情報処理用語標準対訳」による。

### 1.11 そ の 他

(1) コピー：郵送中の紛失事故対策や照会の便宜な

のため、原稿のコピーは必ず手元にとっておいていただきたい。

(2) 正誤：著者から正誤の申し出があった場合、正誤表を最近号に掲載する。

(3) 著者紹介：必要な場合には原稿用紙1枚以内の著者紹介と写真一葉を依頼する。

(4) 別刷：著者は原稿校正時に別刷を注文することができる。その料金は別途定める。

(5) 原稿料：依頼原稿の原稿料は別途定める。

## 2. 「情報処理学会論文誌」原稿執筆案内

### 2.1 論文誌発行の目的

論文誌は会員の研究成果の発表およびこれに関連する討論の場を提供するために刊行される。

### 2.2 論文誌の記事ならびに用語

(1) 論文誌の記事は会員が自発的に執筆し、投稿するもので、原著論文、ショートノートおよび誌上討論の3種類がある。その概要を第1表に示す。

(2) 投稿原稿は日本語あるいは英語で記述するものとする。

### 2.3 投稿手続

(1) 投稿者は原則として本会員に限る。寄稿者が連名の場合は、少なくとも1名は本会員であること。

(2) 投稿原稿に関しては「2.6 論文投稿形式」に従うものとする。ただし、誌上討論に関しては形式は自由とする。

(3) 投稿原稿が所定の体裁に整っておれば、受付日と受付番号を記載した原稿受領書を学会より投稿者へ発行する。投稿原稿の問合せ等は、以後、この受付番号でおこなうこと。

(4) 原稿の送付先および問合せ先は下記の情報処理学会事務局まで。

10月4日まで：

106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル  
(社)情報処理学会 論文誌係 Tel.03 (3505) 0505  
FAX 03 (3584) 7925

10月5日以降：

160 東京都新宿区西新宿一丁目 24 番 1 号  
エステック情報ビル 27 階  
(社)情報処理学会 論文誌係 Tel.03 (5322) 3535  
FAX 03 (5322) 3534

### 2.4 投稿原稿の取り扱い

(1) 論文誌への掲載は論文誌編集委員会にて決定され、その採否が投稿者に通知される。

(2) 掲載記事の内容についての最終責任は著者が負うものとする。

(3) 本学会に採録される前に、下記の公開刊行物に掲載された論文は、既発表とみなし、原則として採

録不可能なものとする。

(a) 学会誌、(b) 商業誌、(c) 各種機関誌、

(d) 大学の紀要、(e) 査読をおこなう会議録

ただし、本論文誌に掲載されたショートノートをもとに発展、充実させたものは既発表とはみなさない。

(4) 原著論文とショートノートに関しては、査読委員の審査結果に基づき、論文誌編集委員会で次のいずれかに決定される。

(a) 採録とする。

(b) 著者に照会し、回答または修正などを求めたうえで、改めて審査をおこない採否を決定する。

(c) 不採録とする。

(5) 採録になった原著論文、ショートノートは、委員会翌月の学会誌上に発表する。また、論文誌に掲載する際には、末尾に、原稿受付日及び採録決定日を付記する。

(6) 照会は、論旨が不明な点の問合せ、部分的な誤りの訂正、難解もしくは冗長な記述の書き直しを求めることを主眼としておこなわれる。照会は原則として1回以内とする。照会への回答期限は3カ月以内で、これを経過した場合は、取り下げたものとみなされる。

(7) 不採録に決定した原稿は、不採録理由を付して著者に返却する。

(8) 投稿論文は次の場合には不採録となる。

(a) 既発表または周知のものから容易に類推される内容である。

(b) 内容が不十分で、読者の参考にならないと考えられる。

(c) 本質的な誤り、または、客観的に認知できない記述がある。

(d) 文章表現や構成において問題があり、軽微の修正で改善の見込みがない。

(e) 本学会と関連性が薄い分野の論文である。

### 2.5 掲載決定通知、別刷等

(1) 採録の決定した論文などに関しては、掲載号が決まった時点で、掲載決定通知を送付する。

第1表 論文誌の投稿記事種目

種 目	内 容	刷り標準 ページ数	和文記事原稿枚数		英文記事 語 数
			ワープロ	手書き	
(1) 論 文	学術、技術上の研究・開発成果の記述であり、独創性、新規性、有用性などの点から会員にとって価値のあるもの。	8	24	48	6,000
(2) ショートノート	新しい研究・開発成果の速報、または小論文。	3	9	18	2,500
(3) 誌 上 討 論	掲載論文、ショートノートに対する質問、回答、その他の意見、提案など。	2	6	12	1,500

\* 原稿枚数、語数はタイトルや図表などすべてを含めた数値  
ワープロ原稿用紙 (24字×26行=624字)

手書き原稿用紙 (24字×13行=312字)  
英文記事は刷り上1ページあたり約750語



論文誌別刷価格表(単位:円)

ページ数 部数	1	2	3	4	5	6	7	8
100	7,000	14,000	21,000	28,000	35,000	42,000	63,000	84,000
200	8,000	15,000	22,000	29,000	36,500	43,500	64,500	85,500
300	9,000	16,000	23,000	30,000	38,000	45,000	66,500	87,500
400	10,000	17,000	24,000	31,000	39,500	46,500	68,500	89,500
500	11,000	18,000	25,000	32,000	41,000	48,000	70,500	91,500

なお、8ページを超えるときは100部の場合で1ページにつき21,000円加算する。カラー写真については、1カラー頁当たり、4通常頁分と換算する。

(2) 誤植防止のために、著者に校正刷りを送る。校正の際に、原稿及び図面の変更は認めない。

(3) 著者から正誤の申し出があった場合、正誤表を最近号に掲載する。事情により有料となることがある。

(4) 掲載された原著論文、ショートノートについては、100部以上の別刷を買っていただく。価格は別表による。著者校正のさい、別刷申込書を同封するので、必要事項記入のうえ、校正ゲラとともに返送のこと。

## 2.6 論文投稿形式

### 2.6.1 投稿に使用する原稿用紙

① 原稿をワープロ等で作成する場合は、A4判またはレターサイズ(8.5"×11")の用紙を使用し、片面打ちとする。字詰は以下にすること。

和文：24字×26行

英文：ダブルスペースで、1ページあたり約250語大見出しは2行どりとする。

② 和文原稿を手書きする場合は、本会所定の原稿用紙を本会事務局で購入すること。

なお、原稿枚数、語数と刷上りページ数の関係については第1表を参照のこと。

### 2.6.2 投稿原稿の構成

原稿は、次の①～⑩をこの順に整える。各々別用紙に、必ず用紙を改めて書くこと。(①～⑩でオリジナル原稿一式とする。)

① 標 題：できるだけ簡潔に、かつ内容がよくわかるように決め、日英両文で書く。ただし、英文論文の場合は、和(日)文はなくても良い。原稿の種別を標題の左肩に明記すること。

② 著者名・所属：氏名、所属を日英両文で書く。ただし、英文論文の場合は、和(日)文はなくても良い。共著の場合、著者と所属機関の対応を明示すること。また、会員・非会員の別(会員の場合は会員番号も)、著者連絡先(住所、電話番号(内線)、eメール等。複数著者の場合は連絡担当者に\*印を付すこと)を用紙の下部に明記すること。

③ 和文アブストラクト：600字(ショートノートは300字)以内。ただし、英文論文の場合は不要。

④ 英文アブストラクト：200語(ショートノートは100語)以内。

⑤ 本 文

⑥ 謝 辞：必要ならば付けても良いが、できるだけ簡単なものとする。特定事項についての援助への謝辞は本文中または脚注で記載した方がよい。

⑦ 参考文献：研究内容に直接関係のある重要な文献には必ず言及すること。これら文献に関連のある本文中の箇所には、右肩に参考文献番号を書き、末尾にその文献をまとめて記述する(2.6.4参照)。

⑧ 付 録：長い数式の誘導の過程や、実験装置、計算機についての説明などの詳細が必要な場合、これを本文中に挿入すると論旨が不明瞭になるので、付録にする方がよい。

⑨ 図(2.6.4参照) ⑩ 表(2.6.4参照)

⑪ キーワード・チェックリスト：情報処理学会所定のもの。

### 2.6.3 投稿原稿の提出形式

原稿を投稿する際は、次の(A)～(C)を必要とする。不足がある場合は受け付けない。

(A) オリジナル原稿一式(①～⑩)

(B) (A)のコピー3部(但し査読用として、②著者名・所属、⑥謝辞および⑩キーワード・チェックリストを除いたもの)。

(C) ①標題、②著者名・所属、③和文アブストラクト、④英文アブストラクト、⑥謝辞、⑩キーワード・チェックリストそれぞれのコピー1部。

### 2.6.4 原稿執筆上の一般的注意事項

(1) 専門用語については、簡単な用語説明を添付することが望ましい。また本文中に使用する記号には必ず説明をつける。

(2) 参考文献は原則として、雑誌の場合には、著者、標題、雑誌名、巻、号、ページ、発行年を、単行本の場合には、著者、書名、ページ数、発行所、発行年を、この順にする。次の例を参照にされたい。

4) 山田太郎：偏微分方程式の数値解法，情報処理，Vol. 1, No. 1, pp. 6～10 (1960)。

5) Feldman, J. and Gries, D.: *Translator Writing System, Comm. ACM*, Vol. 11, No. 2, pp. 77-113 (1968)。

- 7) 大山一夫：電子計算機，p. 300，情報出版，東京（1991）。
- 8) Wilkes, M. V.: *Time Sharing Computer Systems*, p. 200, McDonald, New York (1990).
- (3) 図（モノクロ写真およびカラー写真を含む）および表には，図1および表1のような通し番号と名称を和文と英文でつける。ただし英文論文の場合は和文はなくても良い。英文はその図や表の内容が本文を参照しなくても理解できるよう配慮する。

図・表は著者の作成したものを，そのまま印刷するので，下記要領により，黒インキでトレースするか，あるいは同等の画質があるものを提出すること。①刷上り寸法の2倍大にきれいに書き，文字，記号などは明瞭に記入する。②図・表を入れる場所は，原稿用紙の欄外に明記すること。③表はできる限り簡潔に作成し，長い表は，途中を省略するか，あるいは，直接製版できる原稿にする。④図・表原本には裏面に鉛筆で著者名と図番を記入すること。

図・表のでき上り寸法と行数または枚数の換算は次のとおりである。

寸法 (mm)	ワープロ行数 (24字×26行)	手書き原稿相当枚数
A. 50×34	6行	0.5枚
B. 67×50	13行	1枚
C. 100×67	26行	2枚
D. 134×100	39行	3.5枚

- (4) 数字，ローマ字，ギリシャ文字，記号などは特に明瞭に記載する。大文字・小文字，上つき・下つきの別，×（かける）とX（エックス）の別など。
- (5) 句読点は“.”および“,”を用い，それぞれ1画（1字分）を用いる。
- (6) 数式は印刷に便利よう注意する。文中に式を挿入する場合には  $a/b$ ,  $\exp(t/r)$  のような記法を用いる。

独立した数式は1行につき原稿用紙の2行または3行のスペースを取って書く。数式も文の一種であるから，原則として末尾に“,”または“.”を付す。ただし，プログラム言語の形式を利用する場合には，この限りではない。

- (7) 印刷すべき本文以外の指定や注意書きなどはすべて朱書する。
- (8) 原稿中にあとから文章，文字などを挿入する時は，挿入する文章や文字を欄外に明瞭にするし，かつ挿入する箇所を∨または∧（朱書）で示す。
- (9) 脚注は，\*，\*\*，\*\*\*などの記号で示し，本文中そのすぐ下に横線ではさんで記入し，脚注と朱書する。
- (10) 文中の記号で太字を使用の場合は，その記号の下に～を朱書し，イタリック体（斜体）使用の場合はその文字の下に朱書で一と指定する。

### 3. 機関誌に掲載された論文等の著作権

#### 3.1 著作権の帰属

- (1) 機関誌に掲載された論文等（以下論文等という）の著作権は原則として本学会に帰属する。
- (2) 特別な事情により前項の原則が適用できない場合は著者と本学会との間で協議のうえ措置する。なお特別な事情としては次のような例を想定する。
- 依頼論文等であって，その内容が著者個人でなく著者の所属する法人等に係るもので，著作権の本学会への移転帰属に関し当該法人等の了解が得られない場合。
  - 特別講演記事などで著者の了解が得られない場合。

#### 3.2 著作権の本学会への移転帰属による運用効果および運用上の措置等

- (1) 論文等の著作権は本学会に帰属するが，著者的人格権は著者に帰属する。ただし，著者が著者自身の論文等を複製・翻訳等の形で利用することに対し，本学会はこれに異議申立て，もしくは妨げることを行わない。この場合著者は本学会に申し出を行い，また利用された複製物あるいは著作物中に出典

を明記すること。

- (2) 本学会は論文等の複製をおこなうことができる。但しこの場合関係する著者にその旨了解を得る。
- (3) 第三者から論文等の複製あるいは翻訳等の許諾要請があった場合，本学会は理事会において審議し，適当と認めたものについて要望に応ずることができる。但しこの場合関係する著者にその旨了解を得る。
- (4) 前項の措置によって，第三者から本学会に対価の支払があった場合には関係する著者に報告のうえ，本学会会計に繰り入れ学会活動に有効に活用する。

#### 3.3 著作権侵害等に関する注意事項

- (1) 執筆に当っては他人の著作権の侵害，名誉毀損，その他の問題を生じないように十分に配慮すること。
- (2) 著者は公表された著作物を引用することができる。引用した場合はその出典を明示すること。
- (3) 万一，執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ，第三者に損害を与えた場合著者がその責を負う。

キーワード（論文誌投稿用）

〔寄稿者用〕

（I）あなたが寄稿する原稿の内容に最も関係の深い項目（1つ）に◎印，関係する項目（複数個も可）に○印を付けてください。

大項目	中項目	小項目 ( )内は該当項目のないときに分野名を記入
00 情報科学一般	一般 社会 教育	哲学 歴史 伝記 ( ) 規格 標準化 知的所有権 社会問題 ( ) 情報科学・工学の教育 カリキュラム コンピュータリテラシ CAI 教育工学 ( )
01 基礎理論及び 基礎技術	情報数学  情報理論及び OR  データ解析 数値計算  シミュレーション	形式論理 オートマトン理論 形式言語理論 計算可能性の理論 計算の複雑さ アルゴリズム論 グラフ理論 組合せ理論 ファジ理論 符号理論 整数論 ( ) 情報理論 線形・非線形計画法 動的計画法 整数計画法 ゲーム理論 待ち行列理論 ( ) 推定・検定 確率モデル 統計・確率計算 多変量解析 ( ) 誤差解析 関数近似 補間 線形計算 非線形方程式 数値微積分 常微分方程式 偏微分方程式 積分方程式 極値問題 最適化 特殊関数 数式処理 乱数 ( ) 有限要素法 境界要素法 差分法 モンテカルロ法 ( )
02 人工知能及び 認知科学	基礎理論  人工知能システム  自然言語処理  パターン認識  生体情報処理 感性情報処理	探索 定理自動証明 推論方式 知識表現 知識獲得 非単調論理 学習理論 コネクショニズム ( ) エキスパートシステム ガイダンスシステム エキスパートシステム作成支援ツール ゲームプログラム 演繹データベース 知能ロボット ( ) 機械翻訳 自然言語インタフェース 対話システム 形態素解析 構文解析 意味解析 文生成 談話理解 文法 辞書 ( ) 音声認識 話者識別 画像理解 物体認識 文字認識 リモートセンシング ( ) 視覚 聴覚 神経モデル ニューラルネットワーク ( ) 心理モデル 行動モデル 感情モデル ( )
03 データ処理	音声処理 画像・図形処理  テキスト処理  マルチメディア処理	音声分析 音声合成 ( ) 画質改善 帯域圧縮 符号化 曲面合成 トモグラフィ 3次元処理 グラフィックス アニメーション ( ) ワードプロセッシング 日本語入出力 文書処理 卓上出版 フォントデザイン ( ) ( )
04 ソフトウェア	基礎理論  プログラム言語及び 仕様記述言語  言語処理系 ツール  オペレーティング システム  データベース・情報 検索  プログラミング技術	プログラム理論 オペレーティングシステム理論 データベース理論 形式的意味論 算法論理 検証理論 カテゴリ理論 属性文法 計算パラダイム プログラム合成・変換 ( ) 手続き型言語 論理型言語 関数型言語 オブジェクト指向言語 並列処理言語 システム記述言語 数式処理言語 シミュレーション言語 仕様記述言語 ( ) 構文解析 コード生成 最適化 コンパイラ インタプリタ ( ) エディタ デバッガ ベリファイヤ コンパイラジェネレータ ウィンドウシステム ( ) 記憶管理 入出力管理 障害管理 通信管理 ファイル管理 ジョブ・タスク管理 自動運転管理 並列分散処理 例外処理 性能評価 ( ) データモデル データ言語 データベース設計 質問処理 トランザクション処理 一貫性制約 ファイル構成 検索方式 分散データベース マルチメディアデータベース ( ) データ構造 ガーベッジコレクション ハッシング ソーティング サーチング ( )

\* 1988年7月改訂

大項目	中項目	小項目 ( )内は該当項目のないときに分野名を記入
05 ソフトウェア工学	開発技術 テスト・保守 ソフトウェアプロセス 開発環境 ヒューマンファクタ	設計理論 要求分析法 仕様記述法 プログラミング方法論 プロトタイピング 部品化・再利用技術 プログラム自動構成 ( ) プログラムのテスト・デバッグ プログラム検証 性能評価 プログラム解析 保守運用管理 ( ) プロセスモデル プロセスプログラミング 工程管理 ( ) 構成理論 分散開発環境 文書化支援 ( ) マン・マシンインタフェース 要員教育 プロジェクト管理 プログラミング行動 ( )
06 ハードウェア	基礎理論 論理回路 デバイス アーキテクチャ 周辺・端末 設計技術及び設計自動化 開発環境 テスト・検証	組合せ回路理論 順序回路理論 論理設計理論 レイアウトアルゴリズム ハードウェアアルゴリズム ( ) 記憶回路 演算回路 制御回路 誤り検出・訂正回路 テスト容易化回路 ( ) 論理デバイス 記憶デバイス 入出力デバイス ASIC PLD ( ) 汎用計算機 専用計算機 スーパーコンピュータ ワークステーション 高級言語マシン 非ノイマンアーキテクチャ 並列アーキテクチャ マイクロプログラム フォールトトレランス ( ) 外部記憶 ディスプレイ装置 ハードコピー装置 文字読取装置 図形入出力装置 音声入出力装置 ( ) 方式設計 機能設計 論理設計 レイアウト設計 テスト生成 設計記述言語 シリコンコンパイラ ( ) 統合化ツール 設計環境 設計データベース ( ) LSI テスト ハードウェア設計検証 性能評価 ( )
07 ネットワーク	通信技術 ネットワーク管理 コンピュータネットワーク	データ交換方式 通信方式 画像通信 トラヒック理論 ネットワークアーキテクチャ プロトコル プロトコル検証 ( ) 名前管理 経路管理 障害管理 ( ) WAN LAN 電子会議 電子掲示板 電子メール 分散処理 ( )
08 システム	対話型システム オンラインシステム 制御システム システム評価	構成理論 方法論 CAE CAD CAM CIM CAI 管制システム 訓練システム 意志決定システム オフィスシステム ( ) 予約システム バンキングシステム ( ) プロセス制御 数値制御 通信制御 産業用ロボット FA ( ) 評価技法 評価指標 評価モデル ( )
09 信頼性と安全性	信頼性 機密保護	信頼性理論 保全性理論 信頼性評価 故障解析 ( ) 暗号理論 認証 鍵管理 鍵配送 セキュリティ ( )
10 応用	企業等への応用 工学等への応用 芸術等への応用 その他への応用	オフィス 行政 経営 金融 情報サービス 生産管理 計算機センタ運営 教育 ( ) 航空・宇宙 機械 土木 建築 都市 電気・電子 計測 生物 物理 化学 原子力 輸送・交通 医学・歯学 ( ) 音楽 絵画 商業デザイン ( ) 自然科学 ( ) 社会科学 ( ) 人文科学 ( ) 障害者補助 ( )
11 その他 ( )		

(II) キーワード表にとらわれず、寄稿内容を表すキーワードを書いてください。

- (1) (2) (3)  
(4) (5)

情報処理学会 原稿チェックリスト (太枠内著者記入)

受付番号		希望掲載欄		査読者			
和文 標題		原稿 枚					
英文 標題		図 枚					
		表 枚					
		アブストラクト 枚					
項目	検討内容 (適切であると認められれば○印, そうでないとき×印. 投稿者は著者の欄に自分の判定結果を記入すること)	著者	査読結果				
			第1回	第2回	第3回		
標題抄録等	掲載欄は著者の指定通りでよいか						
	第3者(著者以外の人)が目を通していいか					(事務局)	
	和文標題は内容を適切に表わしているか						
	英文標題は内容を適切に表現し, 英語としても適切か						
	アブストラクトは主旨を適切に表現し, 英文も適切か						
本文	在来研究との関連, 研究の動機, ねらい等が明確に説明されているか						
	既発表の論文等との間に重複はないか						
	章, 節のたて方, 全体の構成等は適切か						
	説明に冗長な点, 逆に簡単すぎる点はないか						
	説明に飛躍した点はないか仮定等の説明は十分か						
	記号・略号等は周知のものか用語は適切か						
	図・表の説明は適当か(本文中および各図のキャプション)						
	科学技術論文として不適當な表現や, 判りにくい表現はないか						
	結論が明確に記されており, 範囲, 限界, 問題点などの指摘が適切で, 内容にそったものであるか						
図表	図表自体は十分に明解であるか, 誤りはないか						
	十分に鮮明か					(事務局)	
	大きさ, 縮尺の指定は適切か					(事務局)	
文献	適切な文献が引用されており, その数も適切か						
総合評価	創意の程度(最高を5とした5段階評価)						
	資料価値, 読者にとって有益な情報の量(最高を5とした5段階評価)						
	興味をもつ読者の多少(非常に多い場合5, ほとんどないとき1)						
	原稿の取り扱い(このまま掲載=3 照会後判定=2 不採録=1)						
査読歴	回数	第1回		第2回		第3回	
	依頼	年月日	原稿 枚	年月日	原稿 枚	年月日	原稿 枚
	期日	年月日	図 枚	年月日	図 枚	年月日	図 枚
	返着	年月日	表 枚	年月日	表 枚	年月日	表 枚
連絡事項	第1回		第2回		第3回		

## 定期刊行物の省略記法

(ISO 4, ISO 833 による)

誌名	省略記法
ACLS Newsletter	<i>ACLS Newsl.</i>
ACM Transactions on Database Systems	<i>ACM Trans. Database Syst.</i>
ACM Transactions on Mathematical Software	<i>ACM Trans. Math. Softw.</i>
ACM Transactions on Programming Languages and Systems	<i>ACM Trans. Prog. Lang. Syst.</i>
Acta Informatica	<i>Acta Inf.</i>
AEDS Journal	<i>AEDS J.</i>
AEDS Monitor	<i>AEDS Monit.</i>
ALGOL Bulletin	<i>ALGOL Bull.</i>
American Journal of Computational Linguistics	<i>Am. J. Comput. Linguist.</i>
American Scientist	<i>Am. Sci.</i>
Annals	<i>Ann.</i>
The Annals of the American Academy of Political and Social Science	<i>Annals AAPSS</i>
Applied Mathematics and Computation	<i>Appl. Math. Comput.</i>
Artificial Intelligence	<i>Artif. Intell.</i>
Association for Literary and Linguistic Computing-Bulletin	<i>Assoc. Lit. Linguist. Comput. Bull.</i>
The Australian Computer Journal	<i>Aust. Comput. J.</i>
Bell System Technical Journal	<i>Bell Syst. Tech. J.</i>
bit	<i>bit</i>
Communications of the ACM	<i>Comm. ACM</i>
Computer	<i>Computer</i>
Computer Aided Design	<i>Comput. Aided Des.</i>
Computer Bulletin	<i>Comput. Bull.</i>
Computer Design	<i>Comput. Des.</i>
Computer Educator	<i>Comput. Educ.</i>
Computer Graphics and Art	<i>Comput. Gr. Art</i>
Computer Vision Graphics and Image Processing	<i>Comput. Gr. Image Process.</i>
Computer Graphics Newsletter	<i>Comput. Gr. Newsl.</i>
Computer Journal	<i>Comput. J.</i>
Computer Languages	<i>Comput. Lang.</i>
Computer Methods in Applied Mechanics and Engineering	<i>Comput. Methods Appl. Mech. Eng.</i>
Computers and Biomedical Research	<i>Comput. Biomed. Res.</i>
Computers & Graphics	<i>Comput. Gr.</i>
Computers and Humanities	<i>Comput. Hum.</i>
Computing	<i>Computing</i>
Computing Newsletter	<i>Comput. Newsl.</i>
Computing Surveys	<i>Comput. Surv.</i>
Datamation	<i>Datamation</i>
Education Technology	<i>Educ. Tech.</i>
Engineering and Instrumentation	<i>Eng. Instrum.</i>
IBM Journal of Research and Development	<i>IBM J. Res. Dev.</i>
IBM Systems Journal	<i>IBM Syst. J.</i>

誌	名	省略記法
IEEE Spectrum		<i>IEEE Spectrum</i>
IEEE Transactions on Computers		<i>IEEE Trans. Comput.</i>
IEEE Transactions on Software Engineering		<i>IEEE Trans. Softw. Eng.</i>
Industrial Engineering		<i>Ind. Eng.</i>
Information and Control		<i>Inf. Control</i>
Information Processing and Management		<i>Inf. Process. Manage.</i>
Information Processing Letters		<i>Inf. Process. Lett.</i>
Information Science		<i>Inf. Sci.</i>
The Information Scientist		<i>The Inf. Sci.</i>
Information Systems		<i>Inf. Syst.</i>
Instrumentation Technology		<i>Instrum. Technol.</i>
International Journal of Bio-Medical Computing		<i>Int. J. Bio-Med. Comput.</i>
International Journal of Computer and Information Sciences		<i>Int. J. Comput. Inf. Sci.</i>
International Journal of Computer Mathematics		<i>Int. J. Comput. Math.</i>
International Journal of General Systems		<i>Int. J. General Syst.</i>
International Journal of Man-Machine Studies		<i>Int. J. Man-Mach. Stud.</i>
Journal of the ACM		<i>J. ACM</i>
Journal of the American Society for Information Sciences		<i>J. Am. Soc. Inf. Sci.</i>
Journal of the American Statistical Association		<i>J. Am. Stat. Assoc.</i>
Journal of Chemical Information & Computer Sciences		<i>J. Chem. Inf. Comput. Sci.</i>
Journal of Clinical Computing		<i>J. Clin. Comput.</i>
Journal of Computational Physics		<i>J. Comput. Phys</i>
Journal of Computer and System Sciences		<i>J. Comput. Syst. Sci.</i>
Journal of Cybernetics and Information Sciences		<i>J. Cybern. Inf. Sci.</i>
Journal of the Franklin Institute		<i>J. Franklin Inst.</i>
Journal of Symbolic Logic		<i>J. Symbolic Logic</i>
Journal of Systems Management		<i>J. Syst. Manage.</i>
Law and Computer Technology		<i>Law Comput. Technol.</i>
Management Information Systems Quarterly		<i>Manage. Inf. Syst. Q.</i>
Management Science		<i>Manage. Sci.</i>
Mathematical Programming		<i>Math. Program.</i>
Mini-Micro Systems		<i>Mini-Micro Syst.</i>
Nachrichtentechnische Zeitschrift		<i>Nachrichtentech. Z.</i>
Operations Research		<i>Oper. Res.</i>
Pattern Recognition		<i>Pattern Recogn.</i>
Popular Computing		<i>Pop. Comput.</i>
Proceedings of the IEEE		<i>Proc. IEEE</i>
Proceedings of the SID		<i>Proc. SID</i>
Science		<i>Science</i>
Scientific American		<i>Sci. Am.</i>
SIAM Journal on Applied Mathematics		<i>SIAM J. Appl. Math.</i>
SIAM Journal on Computing		<i>SIAM J. Comput.</i>
SIAM Journal on Control		<i>SIAM J. Control</i>
SIAM Journal on Mathematical Analysis		<i>SIAM J. Math. Anal.</i>
SIAM Journal on Numerical Analysis		<i>SIAM J. Num. Anal.</i>
SIAM Review		<i>SIAM Rev.</i>
SID Journal		<i>SID J.</i>
Simulation		<i>Simulation</i>
Software-Practice & Experience		<i>Softw. Pract. Exper.</i>
Soviet Cybernetics Review		<i>Sov. Cybern. Rev.</i>
Theoretical Computer Science		<i>Theor. Comput. Sci.</i>

注) 一般的に会議論文集は次のように略記する. Proc. \*\*th 会議名 開催年 (例) Proc. 8th IJCAI 1990

## 情報処理学会関連の英文略記

誌名	省略記法
情報処理学会 (Information Processing Society of Japan)	<i>IPS Japan</i>
学会誌「情報処理」 (Journal of Information Processing Society of Japan)	<i>J. IPS Japan</i>
論文誌 (Transactions of Information Processing Society of Japan)	<i>Trans. IPS Japan</i>
欧文誌 (Journal of Information Processing)	<i>J. Inf. Process.</i>
旧英文誌 (Information Processing in Japan)	略記しない
全国大会 (The **th Annual Convention IPS Japan)	
全国大会論文集 (Proceedings of the **th Annual Convention IPS Japan)	<i>Proc. **th Annual Convention IPS Japan</i>
功績賞 (IPSJ Contribution Award)	
論文賞 (IPSJ Best Paper Award)	
研究賞 (IPSJ SIG Research Award)	
奨励賞 (IPSJ Convention Award)	
情報処理学会 30 年のあゆみ—活動の軌跡と技術展望 (IPSJ and Its 30 years—Review of Its Activities and Technical Perspective)	



# 入会のおすすめ

## 情報処理学会とは…

本会は1960年に情報処理に関する学術・技術の進歩発展を図り、会員相互の連絡研修の場として設立されました。以来多くの会員の活動、ならびに関連学協会および官界・産業界の支援のもとに、学術文化の発展に大きく寄与してきました。その活動も、基礎理論から応用まで情報処理全般におよび、その成果を広く学界および産業界に発表してきました。また、創立と同時に IFIP に加盟するとともに ISO、IEC へ参画するなど国際的学術交流、あるいは標準化活動に貢献してきました。

これからも学術・文化のあらゆる領域に変革をもたらしつつある情報処理分野に指導的役割を果たすとともに、その発展に貢献していきたいと願っています。そこで、情報処理関連の学術研究あるいは事業に携わっている方、関心をお持ちの方の入会をお待ちしております。

## こんなことをやっています！

### →機関誌の発行

- 学会誌「情報処理」：月刊、B5判、解説、本会記事、各種活動案内および報告など。
- 論文誌「情報処理学会論文誌」：月刊、B5判(和文論文掲載)。
- 欧文誌「Journal of Information Processing」(JIP)：季刊、A4変形判(欧文論文掲載)。

なお、平成5年1月から欧文誌は論文誌に統合されます。

### →調査研究活動

- 調査委員会：特定の課題について調査研究を行い、学術の進歩に資することを目的とする。
- 研究会：研究分野ごとに会を組織し、その分野に関して年間4回以上会員による研究発表会(公開)を開催し、研究報告を作成する。
- 研究グループ：特定分野の短期集中的研究開発や、新しい研究分野となり得る苗床的研究。

### →全国大会の開催

- 春(東京開催)、秋(地方開催)の年2回開催し論文集の予約販売を行う。また会員の関心の高い分野のチュートリアルを併催。

### →シンポジウム、講習会、講演会、セミナーの開催

- 各研究分野の主要課題などについて年間に15～20回程度開催。

### →表彰

- 功績賞：情報処理に関する学術または関連事業に対し特別の功労があり、その功績が顕著な会員を毎年2名程度選ぶ。
- 論文賞：前々年の10月から前年の9月までの間に、「情報処理学会論文誌」および「JIP」に発表された論文の中から最も優秀と認める4編以内選ぶ。
- 研究賞：2グループに分けた研究会(含シンポジウム)発表(2年以内)論文の中から、優秀な論文1編ずつ選ぶ。
- 奨励賞：全国大会ごとに優秀と認められる若手の登壇者の中から10名程度選ぶ。
- Best Author賞：学会誌に掲載された記事の中で最も多くの会員の興味を呼び、分かりやすいと評価された著者に贈呈する。

### →情報規格調査会

- ISO(国際標準化機構)、IEC(国際電気標準会議)、JISなど標準規格の調査研究。

### →国際学術交流

- IFIP、ACM、IEEE-CS、IAPRなど。 ●国際会議の主催、共催。

### →学術図書の発刊

- 情報処理ハンドブック、情報フロンティアシリーズなど。

### →支部の活動

- 北海道、東北、東海、北陸、関西、中国、四国、九州(8支部)。
- 各支部にて、総会、講習会、見学会など。

→関連学協会との連絡、協力

- 電気・情報関連学会連合大会年1回共催。
- シンポジウムなどの共催、協賛、後援など。

たとえば最近では…

→学会誌「情報処理」の特集内容

- 新しいアーキテクチャに基づくコンパイラ技術 (Vol.31, No.6)
- CASE環境 (Vol.31, No.8)
- デスクトップパブリッシング (Vol.31, No.11)
- 30年後の情報処理 (Vol.32, No.1)
- オブジェクト指向データベースシステム (Vol.32, No.5)
- 高水準データモデルの最近の研究動向 (Vol.32, No.9)
- 機能メモリのアーキテクチャとその並列計算への応用 (Vol.32, No.12)
- CIMの現状 (Vol.33, No.3)

→研究会名称 (20)

- 自然言語処理
- データベースシステム
- 人工知能
- 記号処理
- ソフトウェア工学
- 計算機アーキテクチャ
- オペレーティング・システム
- コンピュータビジョン
- 設計自動化
- マルチメディア通信と分散処理
- ヒューマンインタフェース
- グラフィクスとCAD
- 数値解析
- 情報システム
- プログラミング—言語・基礎・実践—
- 情報学基礎
- コンピュータと教育
- アルゴリズム
- 人文科学とコンピュータ
- 情報メディア

→シンポジウム

- 1992年並列処理 (平成4年6月15日～17日)
- メディアと情報処理 (平成4年10月1日～2日)
- コンピュータシステム (平成4年11月6日～7日)
- アドバンスド・データベース・システム (平成4年12月8日～9日)
- 第34回プログラミング・シンポジウム (平成5年1月12日～14日)
- 1993情報学シンポジウム (平成5年1月13日～14日)

**そして会員になるとこんなことができます!**

- 学会誌が無料で配布されます。
- 学会誌への寄稿とアンケートによる Best Author 賞の推薦ができます。
- 論文誌、欧文誌が会員特価で購読できます。
- 研究会への登録 (研究報告無料配布) と発表ができます。
- 全国大会での論文発表と優先参加ができます。
- シンポジウム、講習会、講演会、セミナーなどへの優先参加、および参加費の割引があります。
- 情報処理学会主催、あるいは共催の国際会議への優先参加、および参加費の割引があります。
- 支部活動 (研究会、講習会、見学会等) に参加できます。
- ACM 会費が20%割引になります。また、IEEE-CS 準会員の特典が受けられます。
- 希望者には IAPR NEWSLETTER が配布されます。
- 電気、電子情報通信、照明、テレビジョン各学会に入会する時、入会金が免除されます。
- 正会員には\*選挙権、被選挙権があります。
- 正会員には\*総会出席権、議決権があります。

※直接選挙によって選出された役員によって理事会を構成し、総会決定の事業計画にもとづき、会員のために運営されております。

## 入会するには……

所定の入会申込書に必要事項をご記入のうえ、紹介者(本会の正会員)の署名と捺印を得て、下記の通り入会金および年間会費を添えてお申し込みください。ただし、電気、電子情報通信、照明、テレビジョン各学会の会員で在会証明書を入会申込書に添付した場合には、入会金の納入を免除します。なお、年間会費は4月から翌年3月までの会費ですので、年度途中の入会の場合、繰りこし額を送付したバックナンバーの誌代を含め、翌年度会費請求時に精算いたします。

### ◆会員の種別、入会金、年間会費

会員種別	資格	入会金	年間会費	学会誌	*論文誌	*欧文誌	研究会登録	
個人会員	正会員	専門の学識または相当の経験を有する者	2,000円	9,600円	無料送付	有料 4,500円	有料 3,000円	各研究会ごとに 3,000円～ 5,000円
	学生会員	大学学部および大学院修士課程まで	—	4,800円	無料送付	有料 4,500円	有料 3,000円	”
賛助会員	本学会の目的事業を賛助する団体	—	**1日につき 50,000円	無料送付	有料 4,500円	有料 3,000円	”	
購読員	○大学、教育機関、官公立の研究機関、図書館あるいはこれに準ずる団体 ○賛助会員である企業の事業所あるいは研究所	—	**1日につき 20,000円	無料送付	無料送付	無料送付		

・ 非会員の場合は、論文誌 7,800円、欧文誌 6,000円 (学会誌は1冊1,600円/2,000円)

\*\* 何日でも可

\*\*\* 平成5年1月から欧文誌は論文誌に統合されます。

### ◆一括払いについて

同一事業所または研究所に10名以上の会員がいる場合には、会員の希望により、会費の一括納入と学会誌の一括配布の制度を利用することができます。学会事務局の会員係(一括担当)へお問い合わせください。

### ◆入会後の会費納入について

会費は前納を原則とします。したがって毎年1月下旬に請求しますので、新年度の始まる前月の3月末までに納入していただきます(会費の分納は認められません)。

### ◆会費の預金口座自動振替納入について

正会員(前記一括払いの会員は除く)の方は、会費および購読費を毎年3月27日(休日の場合は翌営業日)にご指定の銀行などの預金口座から自動振替により納入することができます(研究会登録費は取扱いません)。

希望者は所定の預金口座振替依頼書にてお申し込みください。ただし新入会時の入会金・会費・購読費は取扱いません。

### ◆入会後の機関誌配布について

機関誌は通常入会が理事会で承認された翌月から送付いたします。

該当するものに○をつけ、網かけ以外を黒インク、黒ボールペンで記入してください。

(注) ○ 数字は算用数字とする。

○ カナ記入欄では、濁音、半濁音は2文字として記入する。(例) ヤマサヅキ

○ 漢字記入欄では、ひらがな・カタカナの濁音、半濁音、  
英文字は、1文字として記入する。(例) がびAg8

( 記 入 例 )

社団法人 情報処理学会 入会申込書 (黒インク、黒ボールペンを使用し、網かけ以外を記入してください。)

③ 本申込書と入会金および会費の送金を以て入会の手続きとします。詳細は、「入会のおすすめ」をご覧ください。

入会適用年月	H 年 月	会員番号	
会員種別	1. 名誉会員 (2) 正会員 3. 学生会員		
氏名(カナ)	イクタ ミナミ ← 姓と名の間は1マスあける		
氏名(漢字)	池田 南 (池田)		
性別	1. 男 (2) 女		
生年月日	37年01月01日 ← 年号は、選択のこと		
通信区分	1. 自宅 (2) 勤務先(個人) 3. 勤務先(一括) ← 一括扱いについては、前項を参照のこと		
自宅	住所	〒105- 東京都港区芝公園3-5-8 振興 308号	
	電話番号	03-3431-2808 ← 局番ごとに - を入れて記入する	
勤務先または 在学 校所在地	住所	〒106- 東京都港区麻布台ス-4-2 保科ビル3F	
	電話番号	03-3505-0505 ← 局番ごとに - を入れて記入する	
名称	名称(カナ)	ジヨウボクシヨリカツカイ	
	名称(漢字)	社情報処理学会	
所属	所属(カナ)	ソフトウェアカイハツブOAICA	
	所属(漢字)	ソフトウェア開発部OA1課	
役職名			
コード	機関	グループ	申込書交付 入金
	支部・県		

正会員：専門知識又は、相当の経験を有する者  
学生会員：大学及び大学院修士課程まで

・住所は都道府県から記入する  
・〇丁目〇番〇号は〇-〇-〇のように記入する  
・次の文字は1マスに記入する

ア	ビ	マン	コ
バ	ブ	シヨ	ボ
ハ	コ	コ	ハイ
フ	フ	ラ	ム
メ	ハウ	レ	セン
ン	ス	ジ	ター

・勤務先、学校名は正式名で記入する  
・株式会社、有限会社などの表現は、それぞれ省略し、注) のように1マスに記入する  
ただし、カナ記入欄は省略する

\*裏面も記入してください。

- 注) 株式会社 - (株)    合資会社 - (資)    社団法人 - (社)    有限会社 - (有)  
財団法人 - (財)    協同組合 - (協)    合名会社 - (名)    特殊法人 - (特)

- ・最終学歴を記入する（卒業予定者も含む）
- ・大学院に進まれた方は、修士課程、博士課程を併記のこと

卒業（予定）年月も記入する

学会承認の提携学会等（例 IEEE）のメールを受取ることへの可否について記入する

内訳と合計を必ず記入する

正会員が署名、捺印する（近くにいない場合は、その旨をメモ欄に記入）

有料の機関誌購読希望の方は記入する  
購読費については、『入会のおすすめ』参照のこと

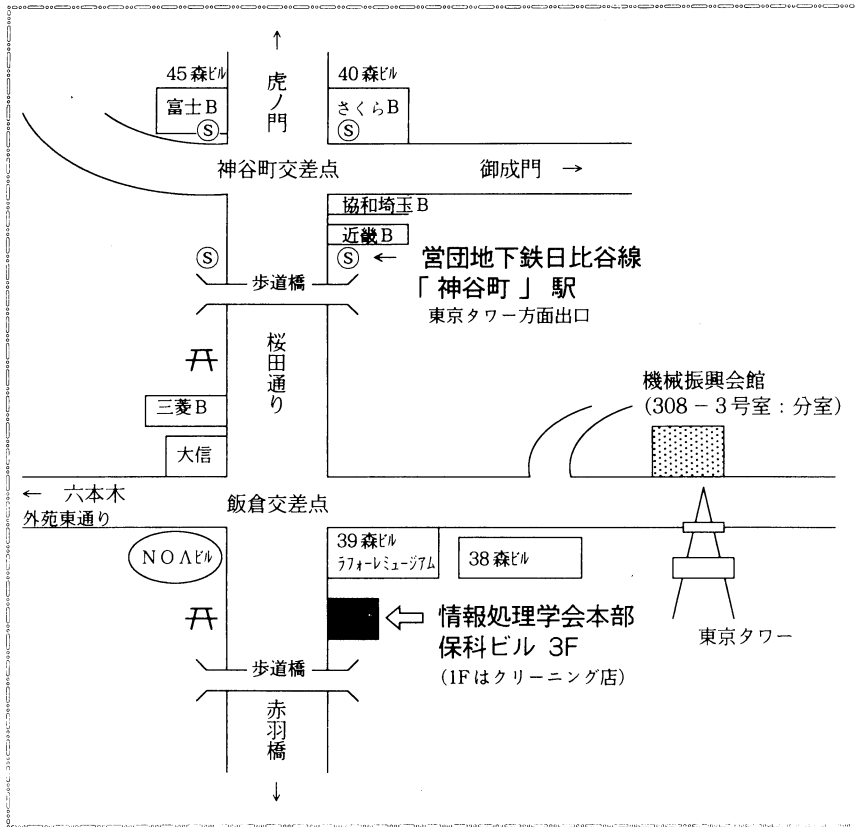
年度中途の入会者で当該年度のバックナンバを希望する方は記入する（残部のある場合のみ送付）

銀行振込の場合には、必ず送金先学会取扱銀行名を記入する

学歴Ⅰ (卒業予定含む)	学校名	東京大学		卒年月Ⅰ (予定)	◎H	60	年	03	月	✓	
	学部名	工学部		学科名	電子工学科						
学歴Ⅱ (卒業予定含む)	大学名	東京大学		卒年月Ⅱ (予定)	◎H	62	年	03	月	✓	
	研究科名	工学研究科		専攻名	情報工学専攻						
学歴Ⅲ (卒業予定含む)	大学名	東京大学		卒年月Ⅲ (予定)	◎S	02	年	03	月	✓	
	研究科名	工学研究科		専攻名	情報工学専攻						
学校区分	1. 大学 2. 短大 3. 高専 4. 専門 5. 各種学校 6. 高校										
博士号	① 工学 2. 理学 3. Ph.D 4. その他 ( )										
希望購読誌	① A. 論文誌 B. 欧文誌										
メール	① 要 1. 不要										
バックナンバ希望	年 月号より										
他の学会への在会状況	1. 電気学会 2. 電子情報通信学会 3. 照明学会 4. テレビジョン学会 ※ 5. その他 (日本ソフトウェア科学会・人工知能学会)										
送金額	入会金	2000 円				送金方法	1. 現金持参				
	会費	9,600 円					2. 現金書留 ※※				
	論文誌	4,500 円					3. 郵便振替				
	欧文誌	円					④ 銀行振込 (三菱 銀行)				
合計	16,100 円										
紹介者	正会員 落合達也 (署名)										
～ メモ欄 ～											
※ 1. 2. 3. 4. の各学会の会員で、在会証明書を入会申込書に添付した場合には、入会金の納入を免除します。											
※※											
○取扱銀行 (いずれも普通預金口座) ○郵便振替口座 東京 5 - 83484											
第一勧銀虎門支店 1013945											
三菱銀行虎ノ門公務部 0000608											
○送金先 (社) 情報処理学会											
〒106											
東京都港区麻布台 2 - 4 - 2											
保科ビル3F											
☎ (03) 3505 - 0505											

☆10月より、取扱銀行及び送金先が変更になります。詳細は本号会告欄をご覧ください。

# 情報処理学会の本部・支部



- 本 部** ☎106 東京都港区麻布台2-4-2 保科ビル 3階 (10月2日まで)  
☎ (03)3505-0505
- 分室(規格)** ☎105 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3号  
☎ (03)3431-2808
- 北海道支部** ☎060 北海道札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学工学部情報工学科内  
☎ 011-716-2111(6819)
- 東北支部** ☎980 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1 東北大学大型計算機センター内  
☎ 022-227-6200(3435)
- 東海支部** ☎460 愛知県名古屋市中区錦2-17-21 NTT DATA 東銀ビル  
NTTデータ通信(株)東海支社内  
☎ 052-204-4517
- 北陸支部** ☎923-12 石川県能美郡辰口町旭台15 北陸先端科学技術大学院大学  
情報科学研究科内  
☎ 0761-51-1111(代)
- 関西支部** ☎530 大阪府大阪市北区梅田1-20 大阪駅前第一ビル8F  
(財)関西情報センター気付  
☎ 06-346-2543
- 中国支部** ☎724 広島県東広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部第三類(電気系)内  
☎ 0824-22-7111(3443)
- 四国支部** ☎770 徳島県徳島市南常三島町2-1 徳島大学工学部  
知能情報工学科内  
☎ 088-23-2311(4714)
- 九州支部** ☎812 福岡県福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学工学部中央計数施設内  
☎ 092-641-1101(5985)

☆本部は移転のため10月5日以降新住所となります。  
詳細は本号会告欄をご覧ください。